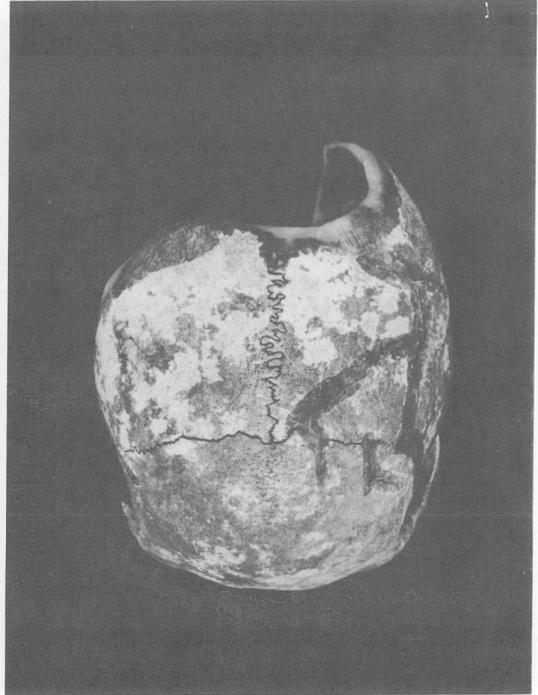
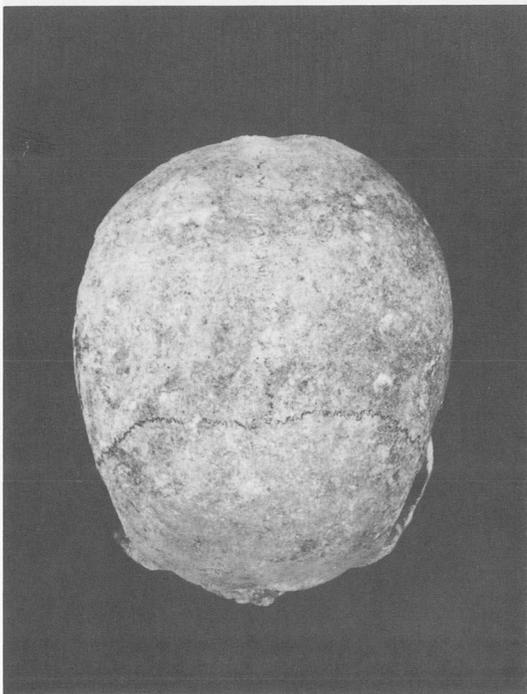


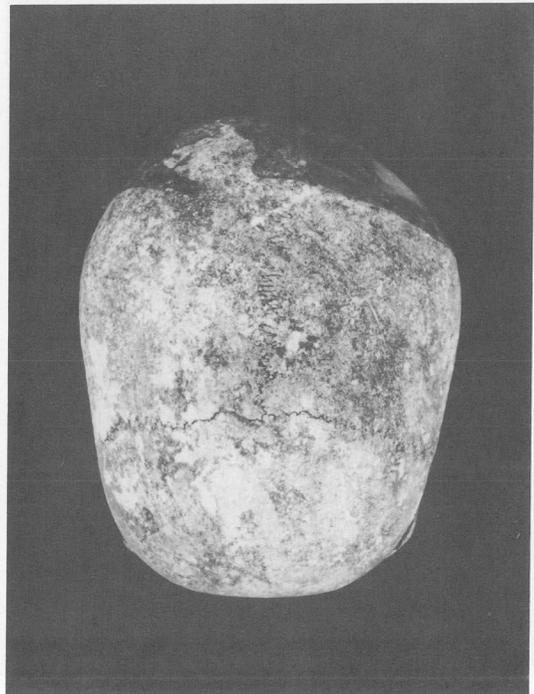
立切 4-2 (男性、熟年)  
 (Tachikiri 4-2, mature male)



立切 4-3 (男性、壮年)  
 (Tachikiri 4-3, young adult male)

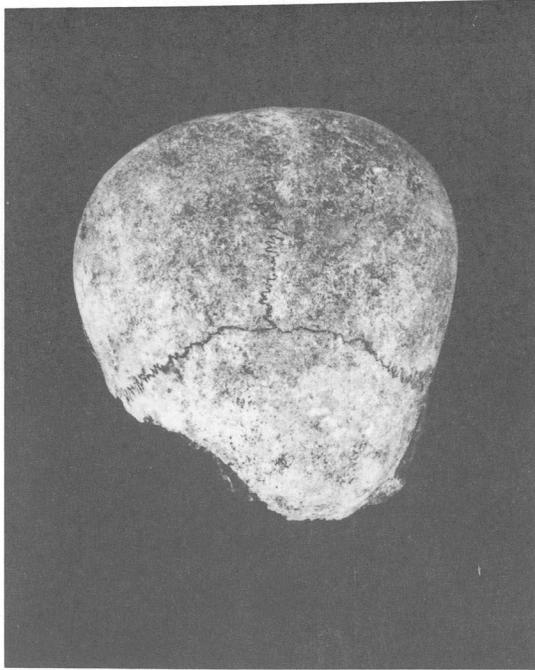


立切 30-1 (男性、熟年)  
 (Tachikiri 30-1, mature male)

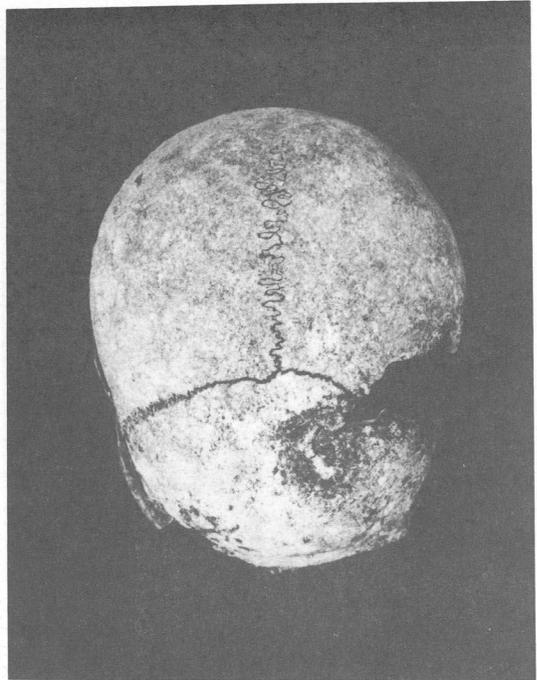


立切 30-4 (男性、熟年)  
 (Tachikiri 30-4, mature male)

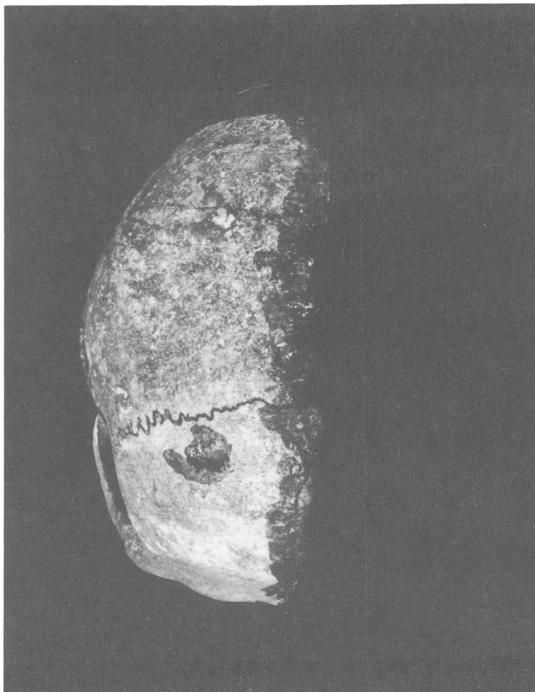
頭蓋上面 (Superior view of the skull)



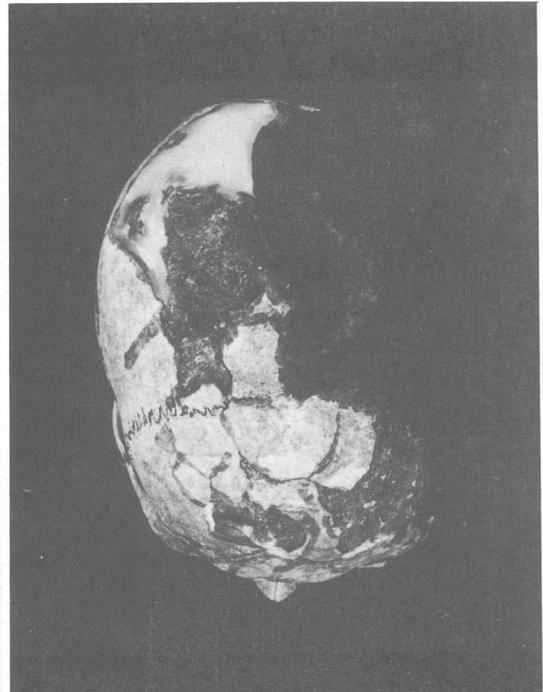
立切 38-2 (男性、熟年)  
(Tachikiri 38-2, mature male)



立切 38-3 (男性、壮年)  
(Tachikiri 38-3, young adult male)

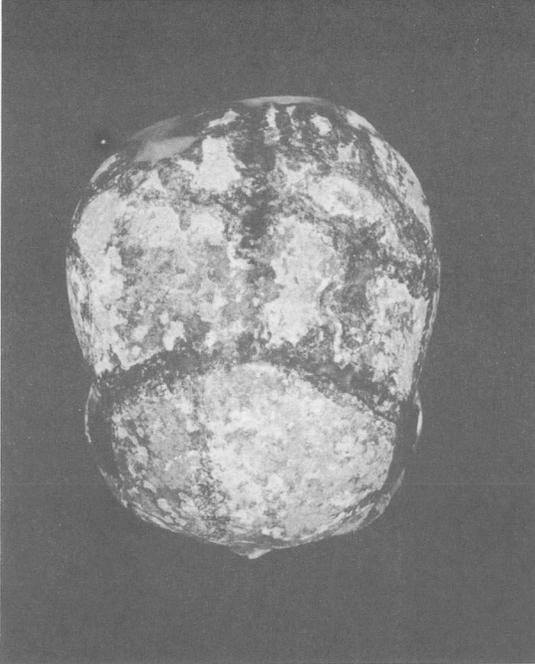


立切 63-3 (男性、壮年)  
(Tachikiri 63-3, young adult male)

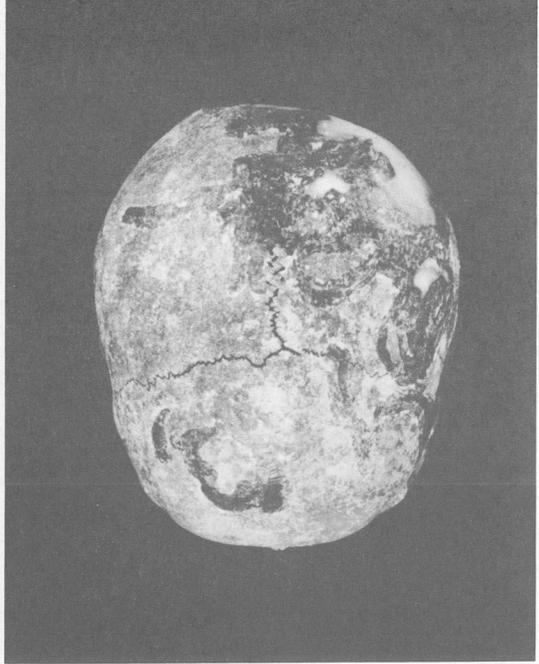


立切 68-4 (男性、壮年)  
(Tachikiri 68-4, young adult male)

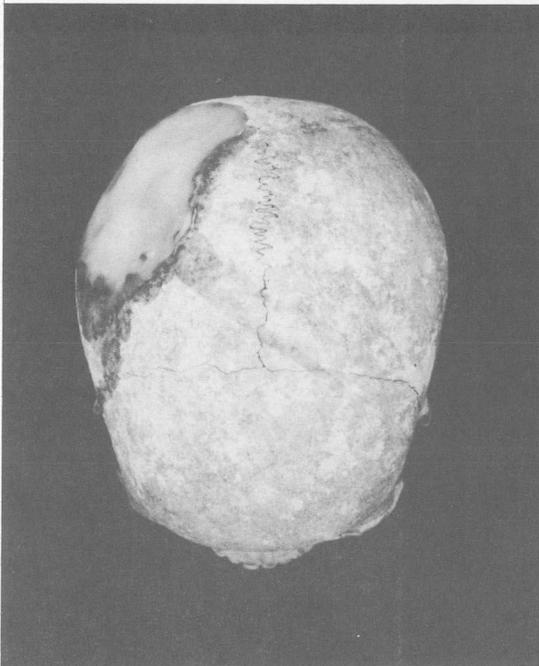
頭蓋上面 (Superior view of the skull)



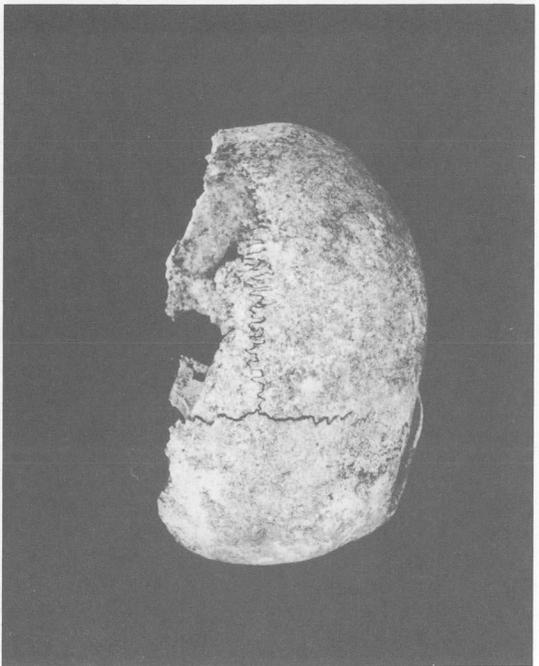
立切 3-6 (女性、壮年)  
(Tachikiri 3-6, young adult female)



立切 6-3 (女性、壮年)  
(Tachikiri 6-3, young adult female)

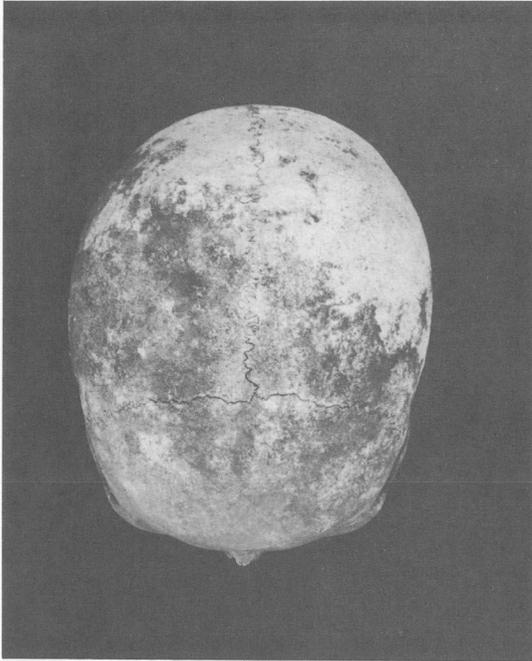


立切 26-1 (女性、熟年)  
(Tachikiri 26-1, mature female)

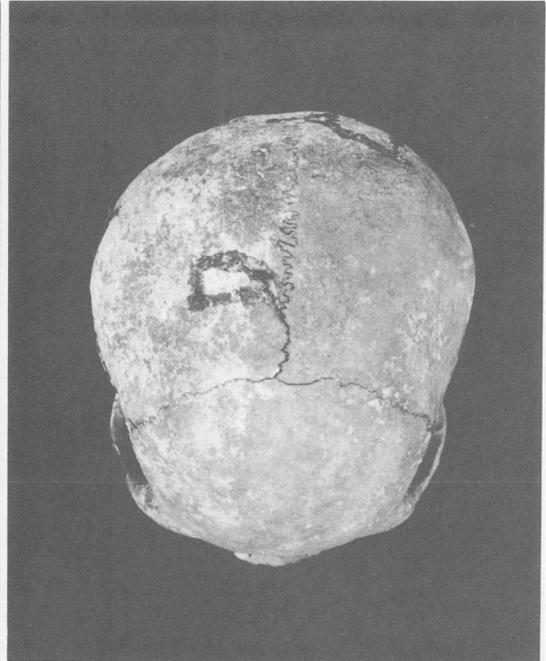


立切 26-2 (女性、壮年)  
(Tachikiri 26-2, young adult female)

頭蓋上面 (Superior view of the skull)



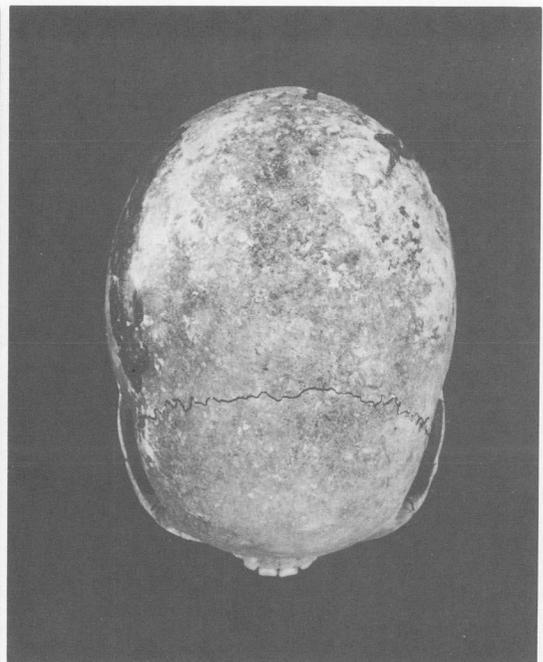
立切 31 (女性、壮年)  
 (Tachikiri 31, young adult female)



立切 40-2 (女性、熟年)  
 (Tachikiri 40-2, mature female)

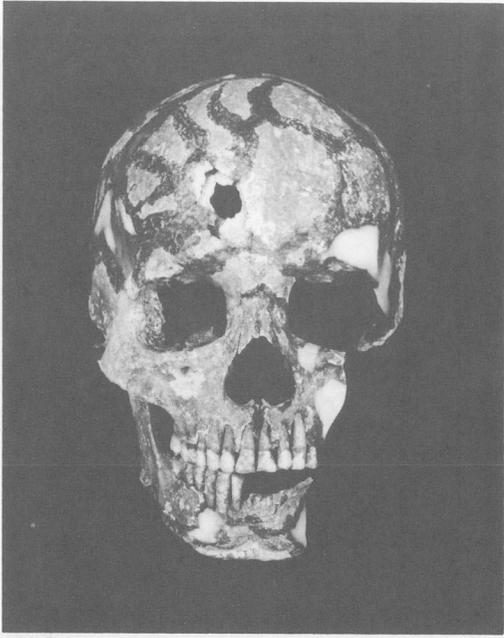


立切 60-3 (女性、壮年)  
 (Tachikiri 60-3, young adult female)

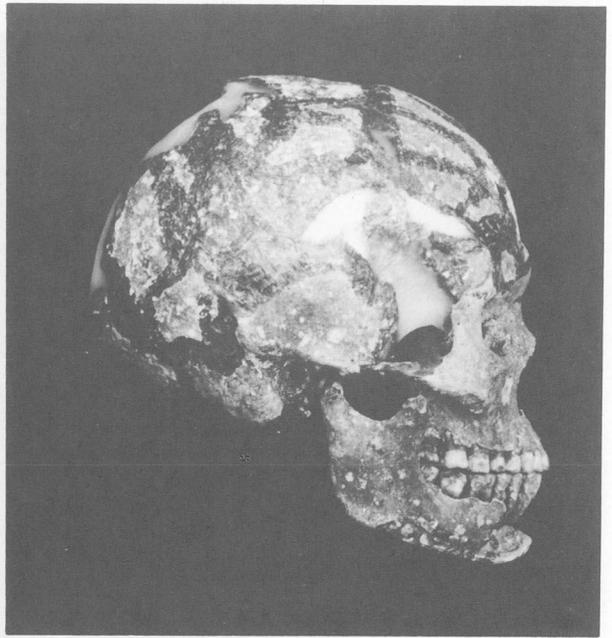


立切 63-5 (女性、壮年)  
 (Tachikiri 63-5, young adult female)

頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋前面 (Frontal view of the skull)

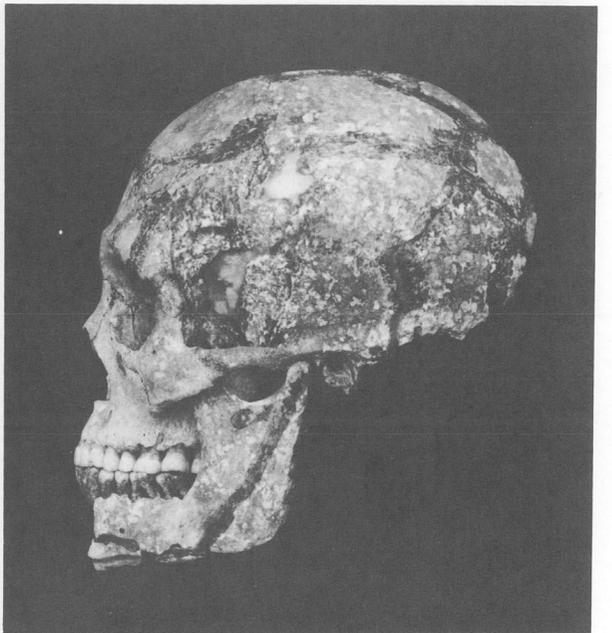


頭蓋側面 (lateral view of the skull)

立切 3-2 (男性、壯年)  
(Tachikiri 3-2, young adult male)

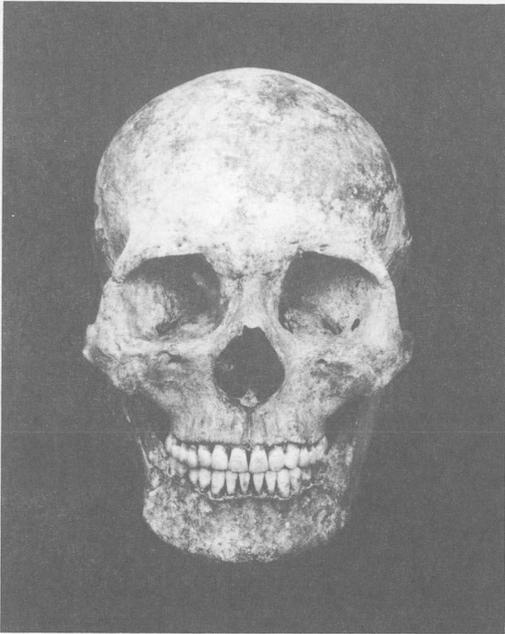


頭蓋前面 (Frontal view of the skull)

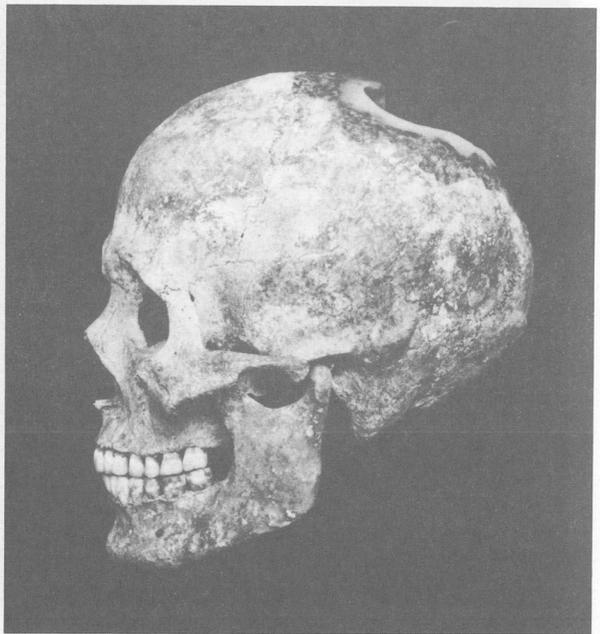


頭蓋側面 (lateral view of the skull)

立切 3-4 (男性、熟年)  
(Tachikiri 3-4, mature male)

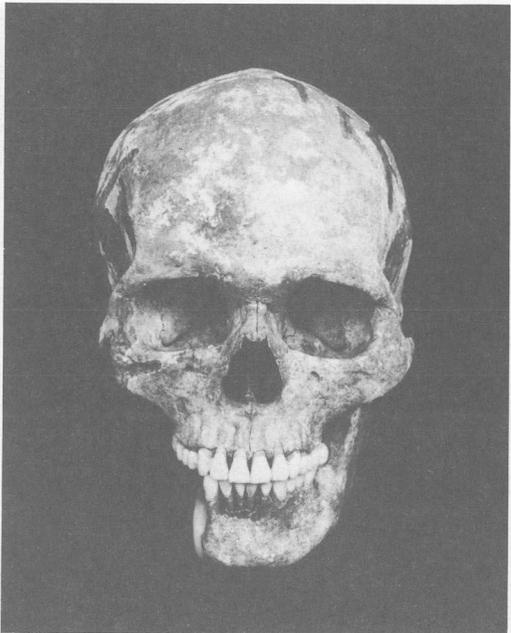


頭蓋前面 (Frontal view of the skull)

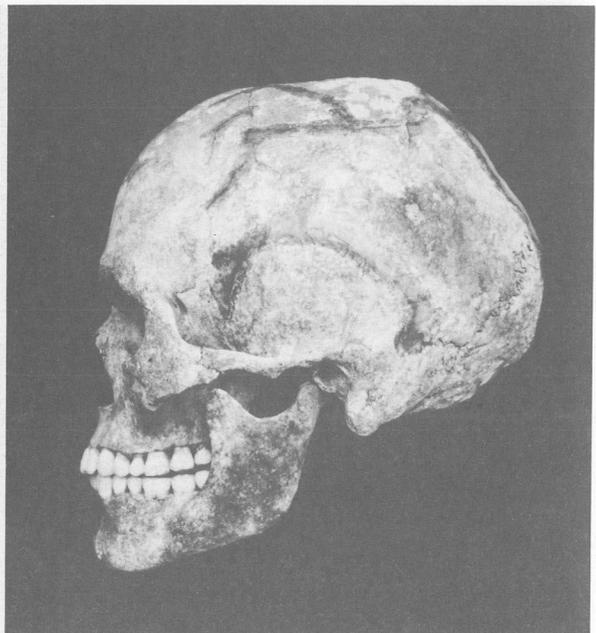


頭蓋側面 (lateral view of the skull)

立切 4-2 (男性、熟年)  
(Tachikiri 4-2, mature male)

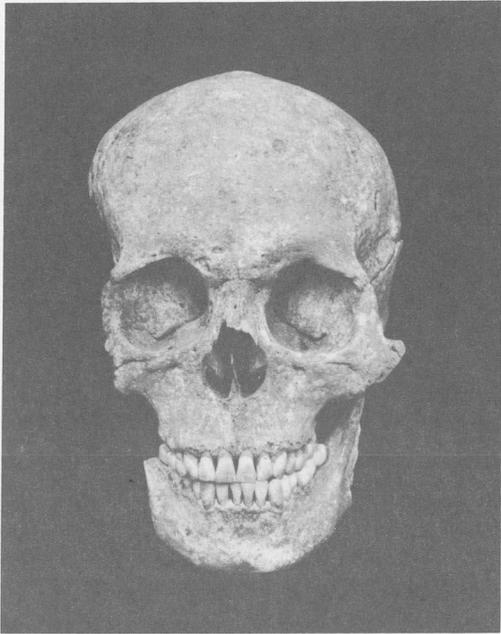


頭蓋前面 (Frontal view of the skull)

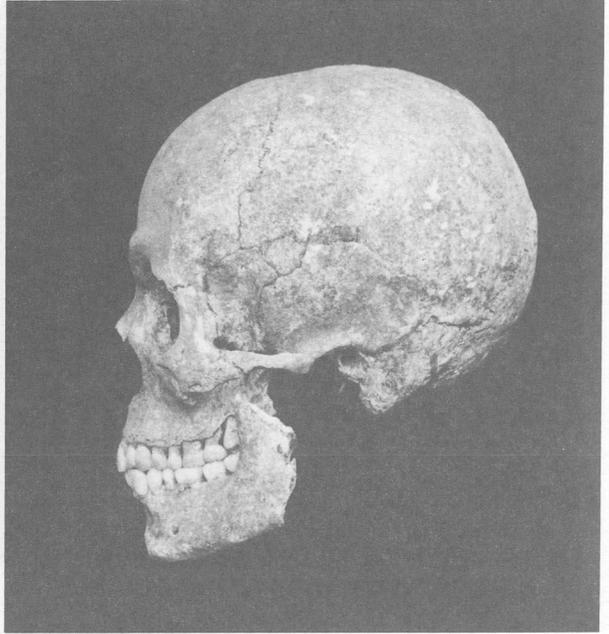


頭蓋側面 (lateral view of the skull)

立切 4-3 (男性、壯年)  
(Tachikiri 4-3, young adult male)

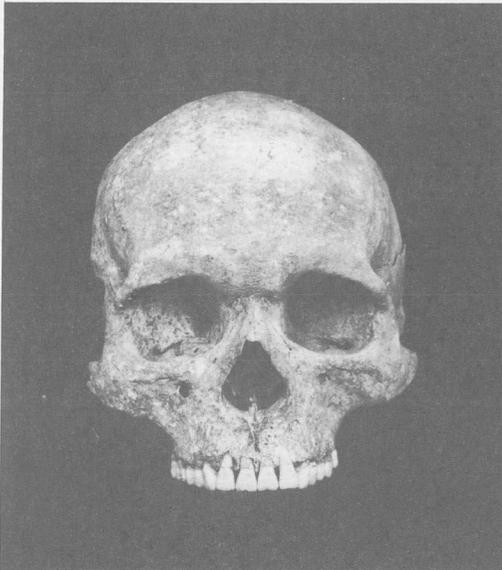


頭蓋前面 (Frontal view of the skull)

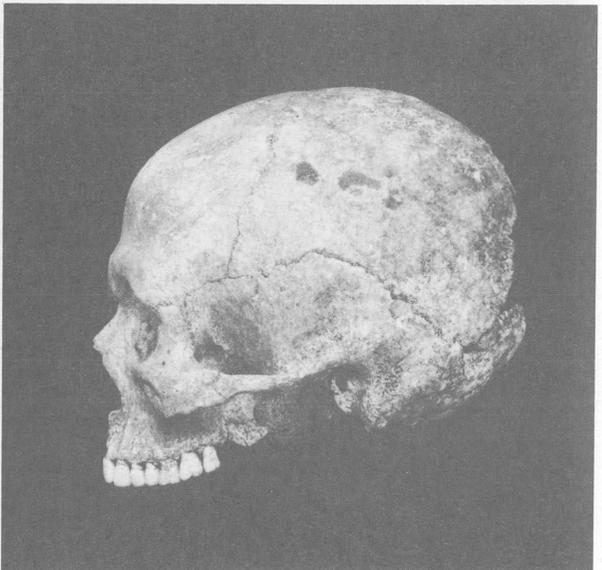


頭蓋側面 (lateral view of the skull)

立切 30-1 (男性、熟年)  
(Tachikiri 30-1, mature male)

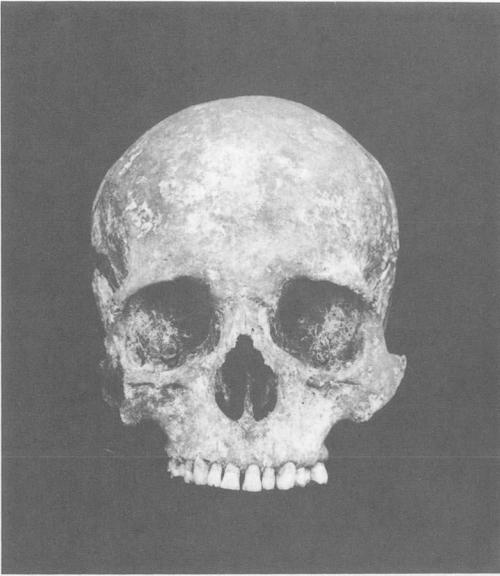


頭蓋前面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (lateral view of the skull)

立切 30-5 (男性、壮年)  
(Tachikiri 30-5, young adult male)

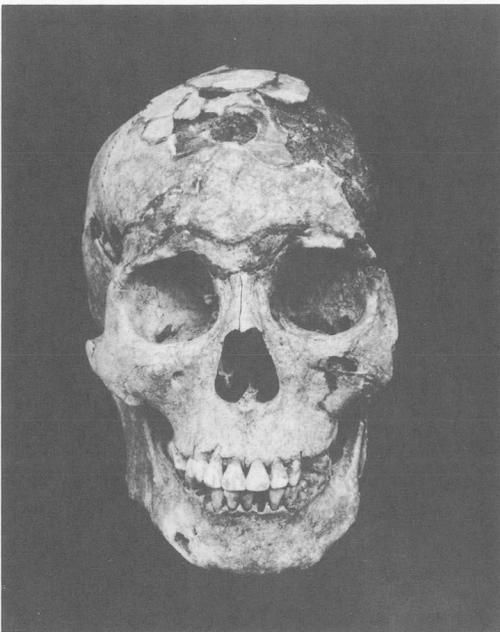


頭蓋前面 (Frontal view of the skull)

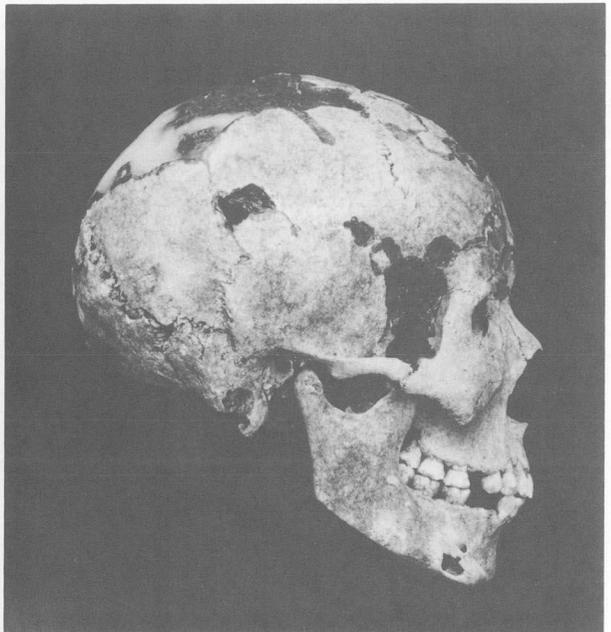


頭蓋側面 (lateral view of the skull)

立切 40-3 (男性、熟年)  
(Tachikiri 40-3, mature male)

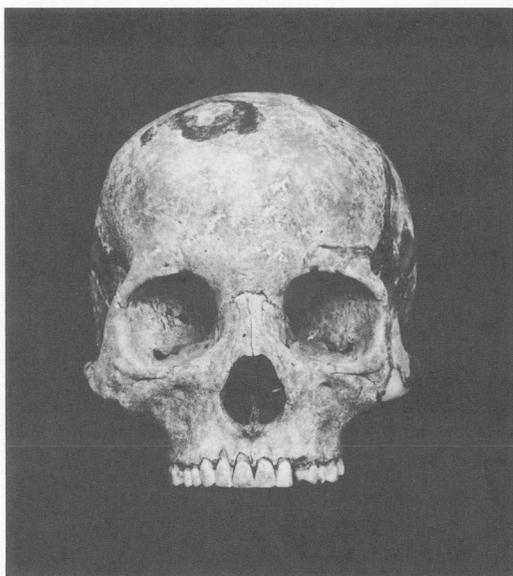


頭蓋前面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (lateral view of the skull)

立切 68-4 (男性、壯年)  
(Tachikiri 68-4, young adult male)

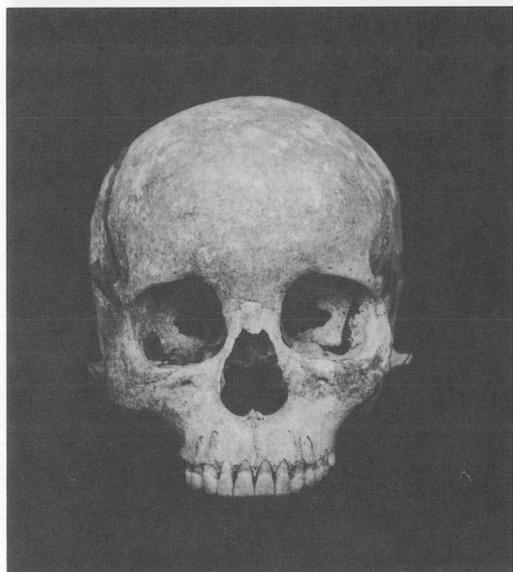


頭蓋前面 (Frontal view of the skull)

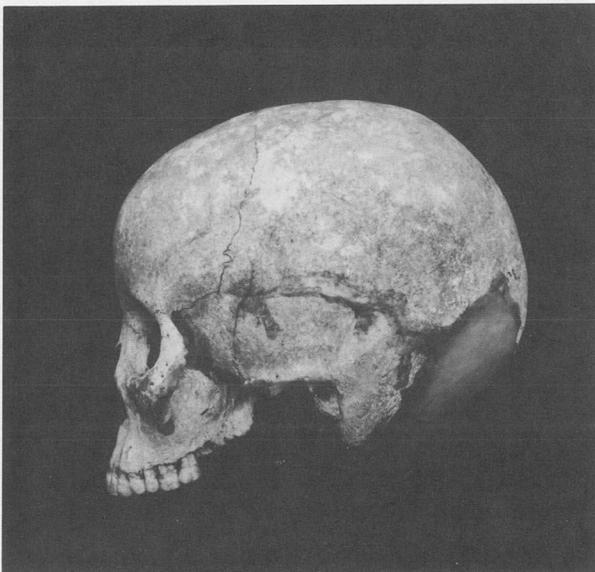


頭蓋側面 (lateral view of the skull)

立切 6-3 (女性、壯年)  
(Tachikiri 6-3, young adult female)

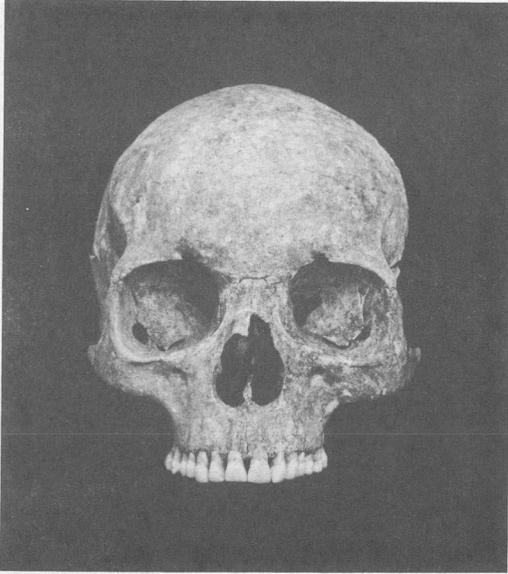


頭蓋前面 (Frontal view of the skull)

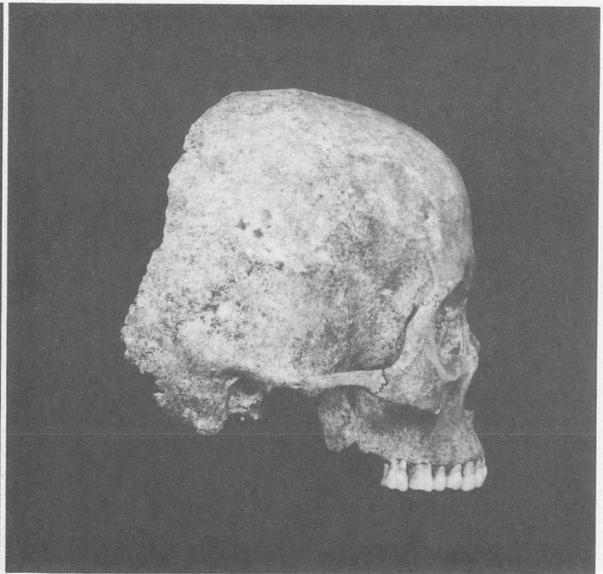


頭蓋側面 (lateral view of the skull)

立切 26-1 (女性、熟年)  
(Tachikiri 26-1, mature female)



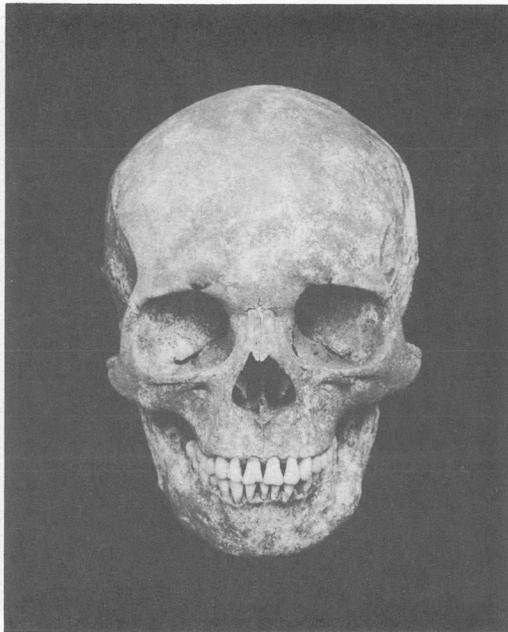
頭蓋前面 (Frontal view of the skull)



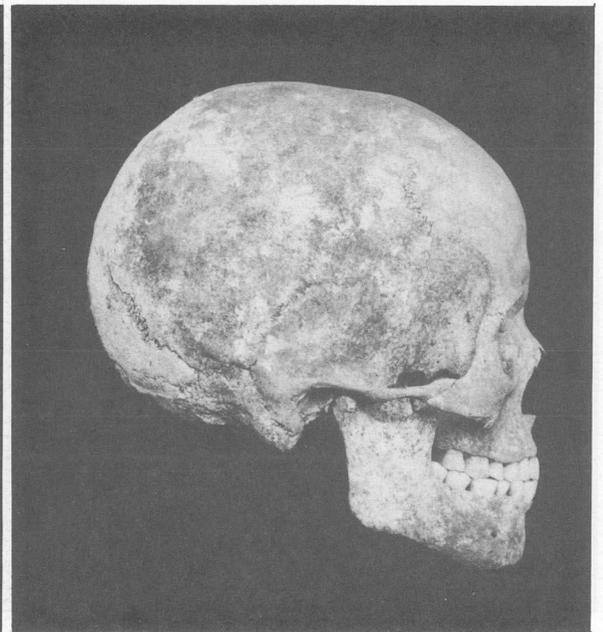
頭蓋側面 (lateral view of the skull)

立切 30-6 (女性)

(Tachikiri 30-6)



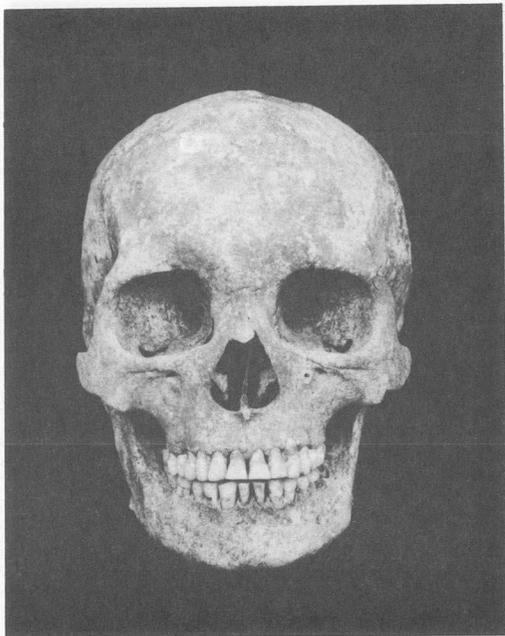
頭蓋前面 (Frontal view of the skull)



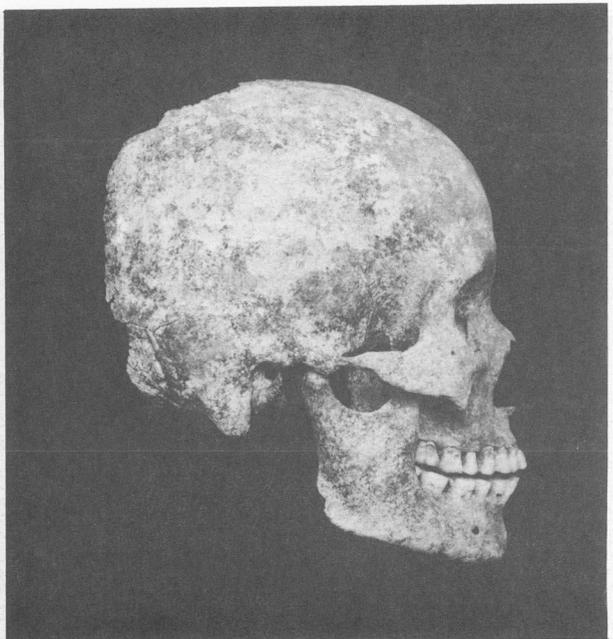
頭蓋側面 (lateral view of the skull)

立切 31 (女性、壮年)

(Tachikiri 31, young adult female)

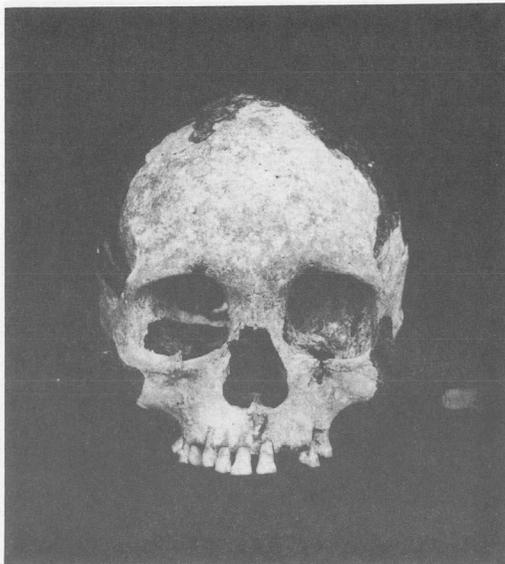


頭蓋前面 (Frontal view of the skull)

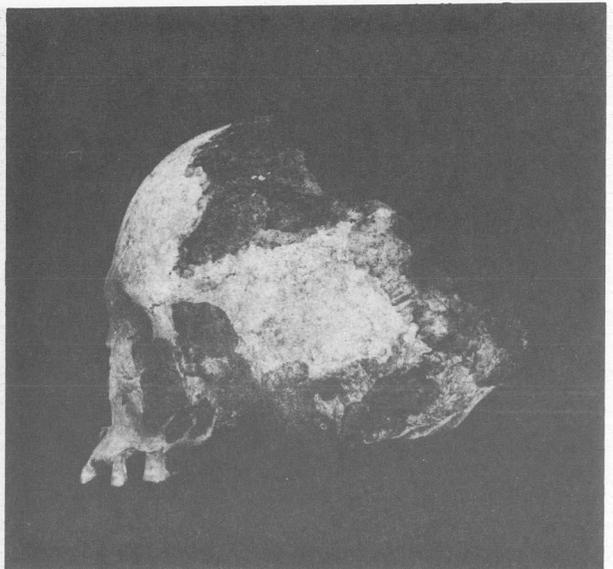


頭蓋側面 (lateral view of the skull)

立切 35-4 (女性、熟年)  
(Tachikiri 35-4, mature female)

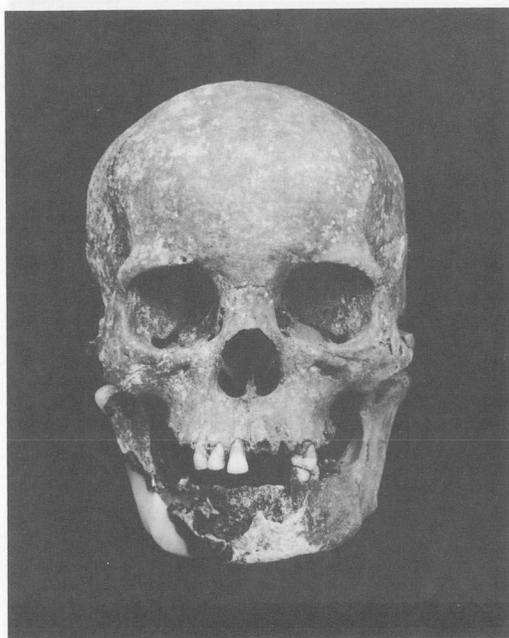


頭蓋前面 (Frontal view of the skull)

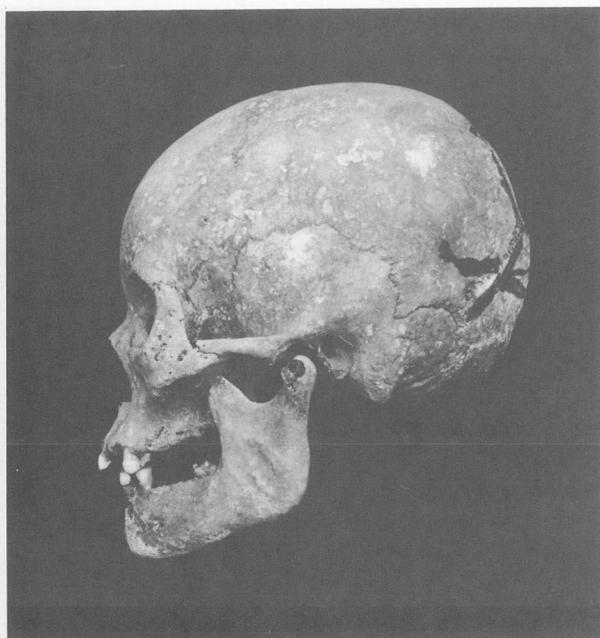


頭蓋側面 (lateral view of the skull)

立切 38-4 (女性、壮年)  
(Tachikiri 38-4, young adult female)

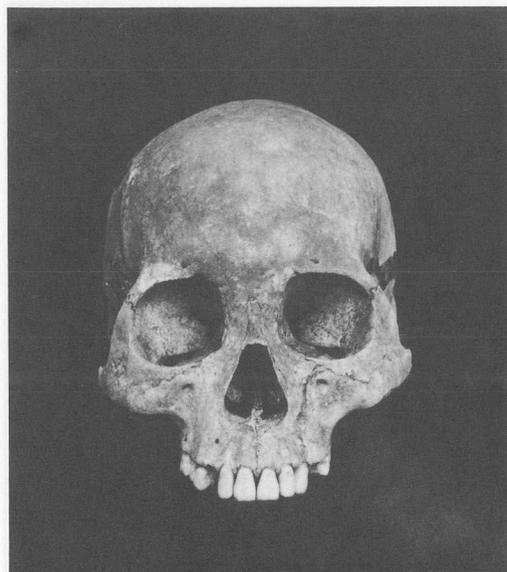


頭蓋前面(Frontal view of the skull)



頭蓋側面(lateral view of the skull)

立切 40-2 (女性、熟年)  
(Tachikiri 40-2, mature female)



頭蓋前面(Frontal view of the skull)



頭蓋側面(lateral view of the skull)

立切 63-5 (女性、壮年)  
(Tachikiri 63-5, young adult female)

**宮崎県西諸県郡高原町立切地下式  
横穴墓出土の古墳時代幼小児骨**

分 部 哲 秋

# 宮崎県西諸県郡高原町立切地下式横穴墓出土の古墳時代幼小児骨

分部 哲秋<sup>\*</sup>

【キーワード】：宮崎県、地下式横穴墓、古墳時代人骨、幼小児骨、短頭型、低・広顔

## はじめに

宮崎県西諸県郡高原町に所在する立切地下式横穴墓群は、圃場整備事業に伴って1987年から1988年にかけて発掘調査が行われ、72基の地下式横穴墓が発見された。このうち23基から総数76体の人骨が検出され、うち11体が幼小児骨であった。

筆者は、縄文時代から弥生時代を経て現代に至るまでの幼小児骨を対象として、幼小児の死亡年令、骨の大きさ、骨化等について調査して、形質の年令的变化、時代差および地方差等について研究を行っている。これまでに宮崎県下の地下式横穴墓出土の未成人骨については、高原町日守(1981)、須木村上の原(1981)、高原町旭台(1983)、野尻町大萩(1984)、国富町市の瀬(1986)、高崎町原村上(1988)、高崎町縄瀬小学校(1988)、高崎町塚原(1988)、えびの市広畑(1991)の各地下式横穴墓からの出土例について報告している。これらの幼小児骨の顔面形態は、高崎町原村上地下式横穴墓出土の小児骨1例に高顔傾向が認められるものの、他の幼小児骨は近代(明治～大正)の幼小児骨(分部、1990)に比べて、強い低顔傾向を示していることから、すでに若年から成人骨に見られる形質を獲得しているものと推測している。

立切地下式横穴墓群出土の幼小児骨は、顔面部の保存状態は比較的良好で、また数も比較的多いことから、幼小児骨の形質のみならず死亡年令と埋葬との関係等を知る上で貴重な情報を提供してくれるものと考えられる。詳細な人類学的観察および計測を行い、他時代の幼小児骨とどのような形質の差が認められるのか検討し、興味ある結果を得たので報告しておきたい。

なお、成人骨に関しては別稿で松下らが詳述しており、本稿では幼小児骨についてのみ報告する。

---

\* 長崎大学医学部解剖学第二教室

## 資料・方法

本遺跡から出土した人骨は、成人骨の稿で述べられているように、すべて地下式横穴墓から検出されたものである。資料数は表1に示しているように、出土総数は76体で、うち65体が成人骨、11体が幼小児骨である。幼小児骨の年令および性別は、表2のとおり2体が幼児、5体は小児I期、4体は小児II期で、小児II期の1例のみは性別を同定することができた。

人骨群の所属時期は、別稿で述べられているように考古学的所見から、古墳時代中期後半から後期前半頃(5世紀後半から6世紀前半)と推定されている。

年令の推定は、歯からの推定は、藤田(1965)による現代人の歯の萌出時期と金田(1957)による現代人の歯根の形成時期を用い、骨化の進行状態からの推定は、鈴木(1943)と分部(未発表)による四肢骨骨端の癒合時期に関する成績を用いて、古墳時代における歯の萌出、歯根形成時期および骨化の時期が、現代のそれらと大差ないと仮定したうえで推定を行った。

年令区分は大友遺跡出土の幼小児骨(分部、1981)と同様の区分とし、幼児期は生後から第一大臼歯の萌出まで(0~6歳)、小児I期は第一大臼歯萌出後から第二大臼歯萌出まで(6~11歳)、小児II期は第二大臼歯萌出後から第二大臼歯の歯根完成まで(12~15歳)、成年期は第二大臼歯の歯根完成後から骨端軟骨の骨化完了の成人に至る過渡期(16~20歳前後)とした。

性別は、骨の形態および歯からの年令と骨化の進行状態の対比から推定した。

計測はMartin-Saller(1957)の方法に従ったが、脛骨の横径はオリビエの方法で計測した。

比較資料は、未成人の骨格は年令とともに変化するのでほぼ同年令の例を用い、近代(明治~大正)幼小児骨(分部、1990)、鹿児島県長浜金久(分部、1985)、長崎県浜郷(分部、1984)および佐賀県大友(分部、1981)、福岡県横隈狐塚(分部、1985)遺跡出土の弥生時代の各幼小児骨、宮崎県下の各地下式横穴墓出土の古墳時代未成人骨と比較した。近代人は性別と年令が明らかで、その成績は実年令ごとに集計しており、発掘人骨は歯と骨化の状態から年令を推定したものである。

なお、本遺跡を含めた各遺跡の位置は、図1に示しているとおりである。

表1 資料数 ( Table 1. Number of materials )

| 成人 |    |    | 未成人 |       |        |    | 合計 |
|----|----|----|-----|-------|--------|----|----|
| 男性 | 女性 | 不明 | 幼児  | 小児(I) | 小児(II) | 成年 |    |
| 3  | 4  | 7  | 2   | 5     | 4      | 0  | 76 |

表2 幼小児骨資料 ( Table 2. Materials of the minorities )

| 人骨番号     | 性別 | 年齢     | 年齢区分  | 備考              |
|----------|----|--------|-------|-----------------|
| 3号墳3号人骨  |    | 7歳     | 小児I期  | 顔面赤色顔料(少量)、クシ着装 |
| 3号墳5号人骨  |    | 14歳    | 小児II期 | 顔面赤色顔料          |
| 26号墳4号人骨 |    | 14歳    | 小児II期 |                 |
| 26号墳5号人骨 |    | 9歳~11歳 | 小児I期  | 歯のみ             |
| 35号墳1号人骨 |    | 13歳    | 小児II期 | 顔面赤色顔料          |
| 60号墳2号人骨 | 女性 | 15歳    | 小児II期 | 顔面赤色顔料(少量)      |
| 63号墳2号人骨 |    | 5歳     | 幼児    | 顔面赤色顔料          |
| 64号墳2号人骨 |    | 10歳    | 小児I期  | 顔面赤色顔料          |
| 64号墳5号人骨 |    | 3歳     | 幼児    |                 |
| 68号墳2号人骨 |    | 7歳     | 小児I期  | 顔面赤色顔料          |
| 68号墳3号人骨 |    | 6歳     | 小児I期  |                 |

## 所 見

各人骨の計測値は、文末の表9~16に一括して記載している。

### 3号墳3号人骨(7歳、小児I期)

#### 1. 頭蓋

##### 1) 脳頭蓋

頭蓋冠の前半部が残っている。骨壁の厚さは小児骨程度で、前頭結節はよく膨隆し、前頭骨は立っている。

頭蓋の3主径は計測が不可能であるが、観察によると幅径が大きくて、頭型は短頭傾向が強いものと推測される。前頭部の計測値である最小前頭幅は97mm、最大前頭幅は121mmで、近代人に比べて前頭部の幅はかなり広い。

##### 2) 顔面頭蓋

顔面頭蓋は、上顎骨の歯槽突起を欠く左半分が残存している。眉間はこの年齢にしては良く突出しており、眉上弓も認められる。鼻骨も前方に隆起して、鼻根部には陥凹が認められる。

顔面の計測値は上顔幅が101mm、頬骨弓幅は(61×2=122)mm、中顔幅は(45×2=90)mmである。近代人において頬骨弓幅が一定して122mmを越えるのは、男性で15歳、女性で16歳、中顔幅が90mmを越える年齢は、男性15歳、女性14歳であるので、顔面の幅は年齢の割りに広い。

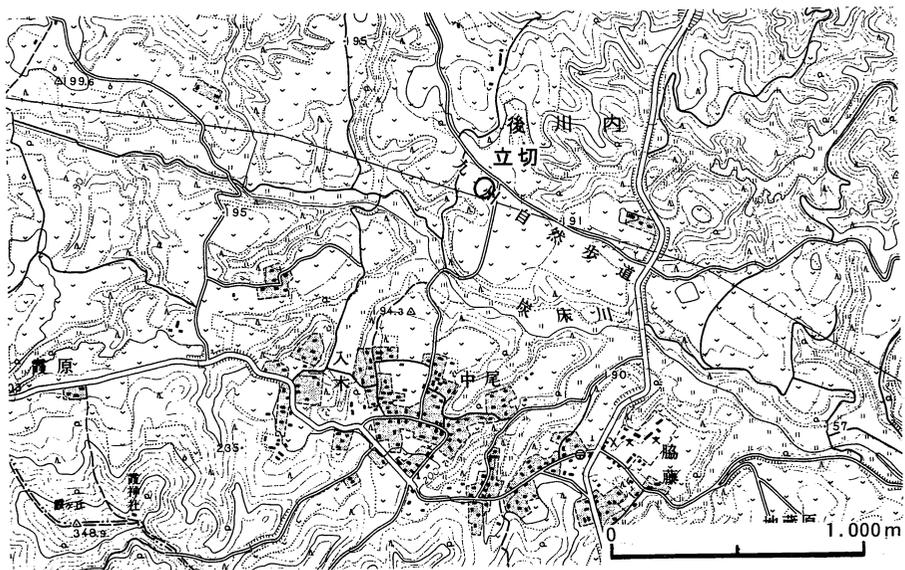
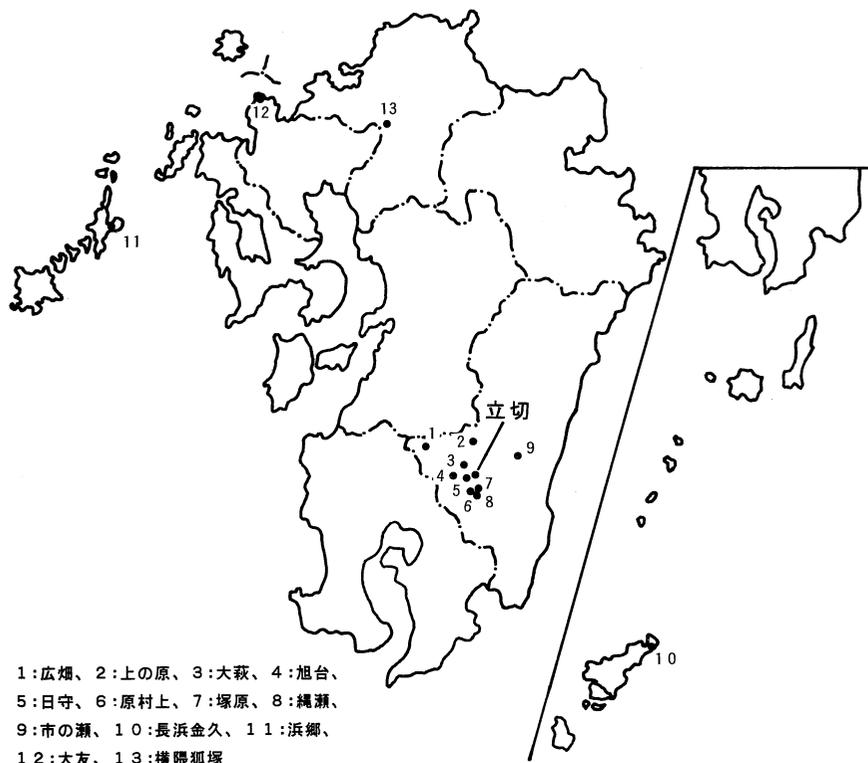


図1. 遺跡の位置

(Fig.1. Location of the Tachikiri site, Takaharu-cho, Miyazaki Pref.)

眼窩は、眼窩幅が41mm(右)、40mm(左)、眼窩高は31mm(左)で、眼窩示数は77.50(左)となる。眼窩型は低眼窩に近いmesokonch(中眼窩)に属し、低眼窩の傾向が強い。

歯についてはすべてが遊離歯で、歯式で示すと次のとおりである。

|   |  |   |
|---|--|---|
| (M <sub>2</sub> ) / (P <sub>2</sub> ) (P <sub>1</sub> ) (C) (I <sub>2</sub> ) / | / (I <sub>2</sub> ) (C) / (P <sub>2</sub> ) M <sub>1</sub> (M <sub>2</sub> ) | <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div>( ) 歯槽内埋伏</div> <div>○ 歯槽開存</div> <div>/ 不明</div> </div> |
| m <sub>2</sub> m <sub>1</sub> / / /   | / / / / m <sub>2</sub>   |   |
| / / / / / / /   | / / / / / / /  |   |
| / / / / / / /   | / / / (P <sub>1</sub> ) / / /  |   |

咬耗は乳歯はBrocaの2~3度、永久歯は上顎第一大臼歯のみに認められ、1度である。したがって、歯は上顎第一大臼歯まで萌出している。また、歯冠は上顎の第二大臼歯まで完成している。

## 2. 骨化

大および小泉門は閉鎖しているが、その他は観察不能である。

## 3. 特殊所見

Cribria orbitaliaは左右両側ともに認められない。外耳道は左側のみが観察でき、軽度の骨腫が認められる。

## 4. 年令

この人骨の歯は上顎第一大臼歯まで萌出しており、この歯は藤田(1965)によれば、男性平均6歳8ヶ月、女性平均6歳4ヶ月で萌出する。また、歯冠と上顎側切歯の歯根の完成度は金田(1957)の7歳に相当しており、咬耗を考慮すると、この人骨の年令は7歳の小児(I期)と推定される。

### 3号墳5号人骨(14歳、小児II期)

#### 1. 頭蓋

##### 1) 脳頭蓋

頭蓋冠の前半部が残っている。骨壁の厚さは成人骨に近く、前頭結節はよく膨隆し、前頭骨は立っている。

バジオン・プレグマ高は139mmでやや高い。頭蓋最大長と最大幅は計測が不可能であるが、観察によると短頭傾向はうかがわれない。前頭部の計測値である最小前頭幅は98mm、最大前頭幅は112mmで、前頭骨後部の幅は平均的なものであるが、前部の幅は近代人に比べてかなり広い。

##### 2) 顔面頭蓋

顔面頭蓋は、下顎骨を除いては完全である。眉間の突出は弱く、眉上弓に続いている。鼻骨の隆起も弱く、鼻根部はやや扁平である。また、上顎には弱い歯槽性の突顎が認められる。

頬骨弓幅は123mm、中顔幅は95mm、上顔高は53mmで、コルマン氏上顔示数は43.09、ウ

イルヒョウ氏上顔示数は55.79となり、顔面型はそれぞれhypereuryen(過広上顔)、hyperchmaerosop(過低上顔)に属している。特に顔面の高径が小さくて、低顔傾向が著名である。眼窩は眼窩幅が41mm(右)、40mm(左)、眼窩高は30mm(右、左)で、眼窩示数は73.17(右)、75.00(左)となり、眼窩型はchamaekonch(低眼窩)(右、左)に属す。鼻部は鼻幅が24mm、鼻高は39mmで、鼻示数は61.54となり、hyperchamarrhin(過広鼻)に属している。眼窩および鼻部は低顔傾向を反映して、低眼窩、広鼻の傾向が強く認められる。

永久歯が残存しており、上顎のものは釘植し、下顎の歯はほとんどが遊離歯である。歯を歯式で示すと、次のとおりである。

$$\frac{(M_3)M_2M_1P_2P_1/I_2I_1 \quad | \quad I_1I_2CP_1P_2M_1M_2(M_3)}{(M_3)M_2M_1P_2P_1CI_2I_1 \quad | \quad I_1I_2CP_1P_2M_1M_2(M_3)}$$

上下両顎の第三大白歯は歯槽内に埋伏しており、それ以外の歯はすでに萌出を完了し、Brocaの1~2度の咬耗が認められる。歯根は萌出している歯では上下の第二大臼歯が未完成で、その他は完成している。

## 2. 四肢骨

### 1) 上肢骨

左側橈骨の骨体遠位部および尺骨の骨体中央部が残っている。両者とも破損して計測は不可能であるが、骨体はこの年齢にしては細い。

### 2) 下肢骨

右側の大腿骨のみが残存しており、中央から遠位半にかけてである。骨体中央矢状径は20.2mm(右)、骨体中央横径は17.6mm(右)で、骨体中央断面示数は114.77(右)となり、矢状径が大きくて、骨体は後方に突出している。

## 3. 骨化

大および小泉門は閉鎖、前後頭内軟骨結合は癒合を完了、蝶後頭軟骨結合は未癒合で、その他の部位は観察不能である。

## 4. 特殊所見

Cribrra orbitaliaは左右両側ともに認められない。外耳道は右側のみが観察でき、骨腫は認められない。

## 5. 年令

歯は上顎の第二大臼歯まで萌出しており、この歯は藤田(1965)によれば男性平均11歳11ヶ月、女性平均12歳0ヶ月で萌出することから、12歳以上である。歯根は上顎第二小臼歯が完成しており、金田(1957)によれば14歳以上で、同第二大臼歯は未完成で15歳以下である。以上、この人骨の年令は、歯根の完成度から約14歳の小児(II期)と推定される。

## 26号墳4号人骨(14歳、小児II期)

### 1. 頭蓋

#### 1) 脳頭蓋

脳頭蓋は左側の前頭部を欠損している。骨壁の厚さは成人骨に近く、前頭結節はよく膨隆し、前頭骨は立っている。計測点を欠いているので正確な計測は不可能であるが、推定値は頭蓋最大長が(171)mm、頭蓋最大幅は(136)mmで、長幅示数は(79.53)となり、頭型は短頭型に近い中頭型に属している。

#### 2) 顔面頭蓋

下顎骨の両下顎枝と歯の一部が残っているのみである。下顎枝は幅が広くて、この年齢にして頑丈である。

残存している歯を歯式で示すと、次のとおりである。

|   |   |
|---|---|
| / / / / / / / / / /                             | / / / / / / / / / /   |
| / M <sub>2</sub> M <sub>1</sub> / / / / / / / / | / / / / / / / / M <sub>1</sub> M <sub>2</sub> (M <sub>3</sub> ) |

歯は下顎の第二大臼歯は萌出し、第三大臼歯は歯槽内に埋伏している。咬耗度は、第一および第二大臼歯ともBrocaの1度である。歯根は第二大臼歯の先端が未完成である。

### 2. 四肢骨

#### 1) 下肢骨

##### (1) 大腿骨

右側の大腿骨骨体が残っている。骨体中央周は61.0mm(右)で、最大長が計測不可能で長厚示数は算出できないが、長さの割りに骨体は太い。骨体中央断面示数は111.11(右)で、示数値は大きくて粗線の外側唇が後外側に突出している。上骨体断面示数は78.73(右)で、骨体上部はやや扁平である。

##### (2) 脛骨

左側脛骨の近位半が残存している。骨体周は65.5mm(左)で、長さの割りに太くて頑丈である。中央断面示数は79.83(左)、栄養孔位断面示数は82.56(左)で、示数値は大きくて骨体に扁平性は認められない。

### 3. 骨化

頭蓋では大・小泉門はもちろん閉鎖しているが、頭蓋底の軟骨結合の癒合状態は欠損のために観察不能である。四肢骨では右側大腿骨遠位端および左側脛骨近位端が観察でき、両者とも未癒合である。

### 4. 特殊所見

右側眼窩と左側外耳道が観察できるが、Cribra orbitaliaおよび骨腫は認められない。

### 5. 年齢



は99mm、最大前頭幅は118mm、両耳幅は123mmで、幅径は長径に比べてやや大きい。

## 2) 顔面頭蓋

下顎両側の下顎枝を欠く以外は完全である。眉間は弱く突出しており、眉上弓も認められる。鼻骨も前方に隆起して、鼻根部には成人骨ほどではないが陥凹が認められる。

顔面の計測値は頬骨弓幅が127mm、中顔幅は100mm、顔高は97mm、上顔高は56mmである。コルマン氏顔示数および上顔示数は76.38、44.09、ウイルヒョウ氏顔示数および上顔示数は97.00、56.00となり、顔面型はそれぞれコルマン氏がhypereuryprosop(過広顔)、hypereuryen(過広上顔)、ウイルヒョウ氏がhyperchamaeprosop(過低顔)、hyperchamaeprosop(過低上顔)に属し、きわめて低広顔傾向が強い。

眼窩は眼窩示数が82.05(右)、77.50(左)で、眼窩型はmesokonch(中眼窩)(右、左)に属しており、鼻部では鼻示数が51.16で、鼻型はchamaerrhin(低鼻)に属す。両者とも顔面の形態を反映して、低眼窩および低鼻の傾向が認められる。

次いで、残存している歯を歯式で示すと、次のとおりである。

$$\frac{(M_3) M_2 M_1 P_2 P_1 C I_2 I_1}{(M_3) M_2 M_1 P_2 P_1 C I_2 I_1} \mid \frac{I_1 I_2 C P_1 P_2 M_1 M_2 (M_3)}{I_1 I_2 C P_1 P_2 M_1 M_2 (M_3)}$$

歯はほとんどが釘植しており、上顎の第二大臼歯まで萌出している。咬耗は上下両顎の切歯群がBrocaの2度で、その他は1度である。歯根は上下両顎の切歯群が完成しており、犬歯および小臼歯群は先端が未完成である。

## 2. 四肢骨

### 1) 上肢骨

左右の鎖骨のみが残存しており、両側ともに肩峰端を欠損している。骨体中央周は29.5mm(右)、27.5mm(左)で、左右でやや異なるとともに、骨体は細い。

### 2) 下肢骨

大腿骨は両側が残存しており、最大長が363mm(左)、骨体の最大長は330 mm(左)、骨体中央周は62.0mm(右)、64.0mm(左)で、この年令にしては長くて、骨体もやや太い。しかしながら、骨体の周径と最大長から算出した長厚示数はそれぞれ17.63(左)、19.39(左)となり、示数値はやや小さくて、長さの割りには骨体は細い。また、中央断面示数は100.00(右)、99.51(左)で、この例は粗線の発達が良いではない。

脛骨は両側ともに残っているが、右側は一部のみである。最大長は297mm(左)、骨体の最大長は268mm(左)、最小周は59.0mm(左)で、大腿骨と同様にこの年令にしては長くて、骨体はやや太い。最大長と最小周からの長厚示数はそれぞれ19.87(左)、22.01(左)で、示数値はやや小さくて、長さの割りに骨体は細い。また、中央断面示数は67.65(左)、栄養孔位断面示数は

71.59(左)で、示数値は小さく扁平である。

### 3. 骨化

観察が可能であった部位のうち、頭蓋については大・小泉門は当然閉鎖しており、蝶後頭軟骨結合は未癒合である。四肢骨では、恥骨下枝が癒合を完了、鎖骨胸骨端、胸骨体内部、寛骨臼、大腿骨骨頭、同小転子(左)、同遠位端(左)、脛骨近位端(左)、同遠位端(左)は未癒合である。

### 4. 特殊所見

両側の眼窩ともcribra orbitaliaは認められず、外耳道は右側のみが観察可能で、骨腫が認められる。

### 5. 年令

歯の萌出状態からは、上顎の第二大臼歯は藤田によれば上顎第二大臼歯は、男性平均11歳11ヶ月、女性平均12歳0ヶ月で萌出し、咬耗も認められるので、12歳以上と推定される。また、上下両顎の犬歯と小白歯の歯根は、概ね金田による歯根形成時期の13歳に相当している。したがって、この人骨の年令は13歳の小児(II期)と推定される。

## 60号墳2号人骨(女性、15歳、小児II期)

### 1. 頭蓋

#### 1) 脳頭蓋

前頭骨から右側頭頂骨にかけてが残っているが、計測はできない。骨壁はそれほど厚くはなく、小児期程度である。

#### 2) 顔面頭蓋

上顎骨と頬骨片が残存しているものの、顔面の形態は不明である。下顎骨は右半が残っており、ややきゃしゃである。

残存している歯を歯式で示すと、次のとおりである。

$$\frac{M_3 M_2 M_1 P_2 P_1 C / I_1}{/ M_2 M_1 P_2 P_1 C I_2 I_1} \quad | \quad / / C P_1 P_2 M_1 M_2 M_3 / I_1 I_2 C P_1 P_2 / M_2 /$$

歯は下顎の左第一大臼歯から右犬歯までが釘植しており、その他は遊離歯である。咬耗は上顎の第三大臼歯まで認められ、下顎の中切歯がBrocaの2度で、その他は1度である。歯根は上下両顎の第二および第三大臼歯が未完成で、その他は完成している。

### 2. 四肢骨

#### 1) 上肢骨

鎖骨は右側遠位部が残っているが、計測はできない。

上腕骨は右側が骨体の中央部と遠位端、左側は中央部の一部が残存している。中央周は56.0mm

(右)で、骨体はやや太い。また、三角筋粗面の発達が悪く、骨体断面示数は85.16(右)で示数値は大きくて、扁平性は認められない。

橈骨は、両側ともに骨体の太さは普通で、中央断面示数は80.33(右)、75.97(左)で左側はやや扁平である。

## 2) 下肢骨

寛骨は左側が残存しており、全体的にきゃしゃで、恥骨下角も広い。

大腿骨は両側の骨体が残っている。骨体中央周は67.0mm(右)、66.0mm(左)で、骨体はこの年令にしてはやや細い。骨体中央断面示数は117.19(右)、111.86(左)で示数値は大きくて、粗線の発達は良好である。また、上骨体断面示数は75.20(左)で示数値は小さく、骨体上部は扁平である。

脛骨は両側の骨体中央から遠位部が残存している。骨体周は57.5mm(右)、59.0mm(左)で、骨体はこの年令にしては細い。中央断面示数は78.54(右)、75.94(左)で示数値は大きくて、骨体に扁平性は認められない。

## 3. 骨化

頭蓋は観察不能で、四肢骨において観察が可能であった部位では、上腕骨の滑車、同小頭、同内側上顆、寛骨の恥骨下枝、同寛骨臼は癒合を完了している。寛骨の腸骨稜と下前腸骨棘は未癒合である。

## 4. 特殊所見

右側の眼窩にはcribra orbitaliaは認められない。外耳道は両側ともに欠損している。

## 5. 性別

歯の完成度に比べて骨化の完了が早いことと、寛骨の形態から女性と推定される。

## 6. 年令

上顎の第二大臼歯は藤田によれば男性平均11歳11ヶ月、女性平均12歳0ヶ月で萌出し、咬耗も認められるので、歯の萌出状態からは12歳以上と推定される。歯根については上顎第二小臼歯が完成しており、金田の歯根完成時期によれば14歳以上である。先端が未完成の上顎第二大臼歯では15歳以下である。したがって、この人骨の年令は歯根の完成度から14～15歳と推定されるが、上腕骨の内側上顆は女性では15歳以上で骨化を完了するので、骨化の進行状態を考え合わせれば、約15歳の小児と推定される。

## 6 3 号墳 2 号人骨(5歳、幼児)

### 1. 頭蓋

#### 1) 脳頭蓋

脳頭蓋は後頭部を欠損しているために、頭蓋最大長は推定値で(162)mm、頭蓋最大幅は(130)

mmで、長幅示数は(80.25)となり、頭型は中頭型に近い短頭型に属している。その他、最大前頭幅は111mmで、前頭骨の幅径はやや大きい。また、骨壁は薄く、前頭骨は良く立って幼児的特徴を示している。

## 2) 顔面頭蓋

左側の頬骨を欠損している他は、ほぼ完全である。顔面は小さいながらも眉間に突出が認められ、鼻骨も隆起して、鼻根部には陥凹が認められる。また、上顎骨の前頭突起も前後方向によく立っている。

顔面の計測値では頬骨弓幅は(54×2=108)mm、中顔幅は(41×2=82)mm、上顔高は45mmで、コルマン氏およびウイルヒョウ氏の上顔示数は(41.67)、(54.88)となる。顔面型はそれぞれhypereuryen(過広上顔)、hyperchamaeprosop(過低上顔)に属しており、きわめて低顔傾向が強い。

眼窩と鼻部の形態では、眼窩示数は83.78(右)で、眼窩型はmesokonch(中眼窩)(右)に属している。鼻示数は60.61で、鼻型はhyperchamaerrhin(過低鼻)に属す。眼窩の低眼窩傾向は強くないが、低鼻傾向は鼻高が小さくて、顕著である。

次いで、残存している歯を歯式で示すと、次のとおりである。

|   |   |
|---|---|
| (M <sub>2</sub> )(M <sub>1</sub> )(P <sub>2</sub> )(P <sub>1</sub> )(C)(I <sub>2</sub> )(I <sub>1</sub> ) | (I <sub>1</sub> )(I <sub>2</sub> )(C)(P <sub>1</sub> )(P <sub>2</sub> )(M <sub>1</sub> )(M <sub>2</sub> ) |
| m <sub>2</sub> m <sub>1</sub> c i <sub>2</sub> ○  | i <sub>1</sub> ○ ○ / /  |
| m <sub>2</sub> m <sub>1</sub> / i <sub>2</sub> i <sub>1</sub>   | / / c / /   |
| / (M <sub>1</sub> )(P <sub>2</sub> )(P <sub>1</sub> )(C)(I <sub>2</sub> )(I <sub>1</sub> )                | (I <sub>1</sub> )(I <sub>2</sub> ) / / / / /  |

上顎の歯は釘植しており、下顎の歯は遊離歯である。萌出状態は乳歯がすべて萌出を完了しており、永久歯は未萌出である。咬耗は上下両顎の第二乳臼歯がBrocaの1度で、その他は2~3度である。第一大臼歯以外の歯冠は完成していない。

## 2. 四肢骨

### 1) 上肢骨

右側の橈骨および尺骨の骨体が残っているが、両者共に保存状態が悪く、計測はできない。

## 3. 骨化

大泉門のみが観察可能で、すでに閉鎖している。

## 4. 特殊所見

cribra orbitaliaは左右ともに認められない。外耳道は右側のみが観察でき、骨腫は認められない。また、左眼窩の外側と右眼窩下孔部に骨病変が認められる。

## 5. 年令

下顎の第一大臼歯は萌出しておらず、藤田によればこの歯は男性平均6歳4ヶ月、女性平均6歳0ヶ月で萌出するので、萌出状態からは6歳未満と推測される。また、下顎の犬歯、第一および

び第二小白歯の歯冠の完成度は、金田の5～6歳に相当している。したがって、この人骨の年齢は約5歳の幼児と推定される。

## 64号墳2号人骨(10歳、小児I期)

### 1. 頭蓋

#### 1) 脳頭蓋

左右の頭頂骨の後部が残っている。骨壁の厚さは成人骨よりも薄い。

#### 2) 顔面頭蓋

左右の上顎骨と下顎骨の一部が残っているが、保存状態が悪くて形態的特徴は不明である。残存している歯を歯式で示すと、次のとおりである。

|                                 |                                |  |                   |                     |
|---------------------------------|--------------------------------|--|-------------------|---------------------|
| (M <sub>3</sub> ) /             | (P <sub>2</sub> )              |  | (P <sub>2</sub> ) | (M <sub>2</sub> ) / |
| M <sub>1</sub> m <sub>2</sub> / | Cl <sub>2</sub> I <sub>1</sub> | ○ I <sub>2</sub> C ○                           | m <sub>2</sub>    | M <sub>1</sub>      |
| / /                             | / /                            | I <sub>1</sub> I <sub>2</sub> C P <sub>1</sub> | m <sub>2</sub>    | M <sub>1</sub>      |
| / /                             | / /                            |  | (P <sub>2</sub> ) | / /                 |

上顎の左右第二乳白歯の間は釘植しており、その他は遊離歯である。萌出状態は上顎の第一小白歯まで萌出し、第二小白歯は歯槽内に埋伏している。咬耗は乳歯がBrocaの2度で、永久歯は1度である。歯根は切歯群がほぼ完成している。

### 2. 四肢骨

#### 1) 上肢骨

上腕骨は右側骨体が残っており、中央周は43.5mm(右)で、年齢の割にやや太い。骨体断面示数は76.87(右)を示し、骨体はやや扁平である。

右側の橈骨と尺骨が残存しているが、橈骨は計測値が得られる。骨体断面示数と中央断面示数はそれぞれ70.87(右)、70.00(右)となり、橈骨の骨体はやや扁平である。

#### 2) 下肢骨

大腿骨は左右側ともに骨体が残っており、骨体中央周は51.0mm(右)、51.5mm(左)で、年齢の割にやや細い。骨体中央断面示数は101.88(右)、96.99(左)で、粗線はあまり発達していない。上骨体断面示数は76.65(左)で、骨体上部はやや扁平である。

脛骨は左右の骨体が残存している。骨体周は49.0mm(右)で、やや細い。中央断面示数は71.82(右)で、骨体中央部はかなり扁平である。

### 3. 骨化

観察部位は残存していない。

### 4. 特殊所見

眼窩および外耳道は残存していない。他の骨にも病的所見は認められない。

## 5. 年令

萌出を完了している歯で、最も遅く萌出するのは上顎の犬歯で、藤田によれば男性平均10歳11ヶ月、女性平均10歳2ヶ月である。未萌出の上顎第二小臼歯は男性平均10歳0ヶ月、女性平均10歳5ヶ月で萌出するので、萌出状態からは10歳と推定される。また、歯根の完成度は金田の9歳の終わりから11歳の初めとなる。以上のことから、この人骨の年令は約10歳の小児(I期)と推定される。

### 6 4号墳5号人骨(3歳、幼児)

#### 1. 頭蓋

##### 1) 脳頭蓋

前頭骨および右頭頂骨の外側部と小骨片が多数残存しているが、接合が不可能である。骨壁の厚さは薄い。

##### 2) 顔面頭蓋

歯のみが残っており、歯式で示すと次のとおりである。

|                   |                   |                   |                |     |                   |                   |  |                   |   |   |   |   |   |                   |   |
|-------------------|-------------------|-------------------|----------------|-----|-------------------|-------------------|--|-------------------|---|---|---|---|---|-------------------|---|
| (M <sub>2</sub> ) | /                 | (P <sub>2</sub> ) | /              | (C) | (I <sub>2</sub> ) | (I <sub>1</sub> ) |  | (I <sub>1</sub> ) | / | / | / | / | / | /                 | / |
|                   |                   | m <sub>2</sub>    | /              | /   | /                 | /                 |  | /                 | / | / | / | / | / | /                 | / |
|                   |                   | m <sub>2</sub>    | m <sub>1</sub> | /   | i <sub>2</sub>    | /                 |  | i <sub>1</sub>    | / | / | / | / | / | /                 | / |
| /                 | (M <sub>1</sub> ) | (P <sub>2</sub> ) | /              | /   | /                 | /                 |  | /                 | / | / | / | / | / | (M <sub>1</sub> ) | / |

歯はすべて遊離歯である。咬耗の程度は下顎の乳中切歯がBrocaの2度で、その他の乳歯は1度で、永久歯には認められない。したがって、萌出状態は上顎の第二乳臼歯まで萌出している。また、永久歯の歯冠は、完成したものはない。

#### 2. 四肢骨

##### 1) 下肢骨

左右の判別ができない大腿骨の骨体が残存するのみである。

#### 3. 骨化

観察部位が残存していない。

#### 4. 特殊所見

眼窩および外耳道は残存していない。他の骨にも病的所見は認められない。

## 5. 年令

萌出している乳歯のうち最も遅く萌出するのは上顎の第二乳臼歯で、藤田によれば男性平均2歳3ヶ月、女性平均2歳4ヶ月である。咬耗がそれほど強くないことと上顎中切歯の歯冠はある程度形成しているので、この人骨の年令は約3歳の幼児と推定される。

## 68号墳2号人骨(7歳、小児I期)

### 1. 頭蓋

#### 1) 脳頭蓋

脳頭蓋の前半部が残っている。前頭結節は発達しているが、その位置が下方にあるため前頭骨は後方に傾いている。骨壁は小児骨程度の厚さである。最小前頭幅は86mm、最大前頭幅は105mmで、前頭骨の幅はそれほど大きくはないが、観察によれば頭頂部の幅は広く、頭型は短頭型に傾いたものと推測される。

#### 2) 顔面頭蓋

鼻部と上・下顎骨の一部が残っているが、顔面の主な形態は不明である。観察によると、眉間の突出は強い。

残存している歯を歯式で示すと、次のとおりである。

|   |   |
|---|---|
| $\begin{array}{cccccc} / & / & (P_2) & (P_1) & (C) & (I_2) & (I_1) \\ & m_2 & m_1 & c & i_2 & / \\ \hline & m_2 & / & / & / & / \\ & / & / & / & / & (I_2) & (I_1) \end{array}$ | $\begin{array}{cccccc} (I_1) & (I_2) & (C) & (P_1) & (P_2) & M_1 & (M_2) \\ / & i_2 & c & m_1 & m_2 \\ \hline / & / & / & / & m_2 \\ (I_1) & (I_2) & / & P_1 & / & M_1 & (M_2) \end{array}$ |
|---|---|

上顎の切歯群が釘植しており、その他は遊離歯である。乳歯にはBrocaの2度、永久歯のうち上顎第一大臼歯と下顎の切歯群には1度の咬耗が認められる。永久歯は上顎の中切歯まで萌出している。永久歯の歯根はすべて形成途中である。

### 2. 骨化

大泉門のみが観察でき、この部は閉鎖している。

### 3. 特殊所見

左右の眼窩にはcribra orbitaliaは認められない。外耳道は両側ともに欠損しており、その他の残存部にも骨疾患は認められない。

### 4. 年令

歯の萌出状態からの年令は、萌出している歯で最も遅く萌出するのは上顎の中切歯で、藤田によれば男性平均7歳5ヶ月、女性平均7歳2ヶ月である。また、歯根の完成度は上顎中切歯から第一大臼歯までのすべてが金田の7歳に相当している。したがって、この人骨の年令は約7歳の小児(I期)と推定される。

## 68号墳3号人骨(6歳、小児I期)

### 1. 頭蓋

#### 1) 脳頭蓋

脳頭蓋は前頭部から左側頭部が残存している。前頭結節は発達して前頭骨も良く立っており、

また、骨壁の厚さは薄い。最大前頭幅は112mmで、前頭骨はやや広い。

## 2) 顔面頭蓋

顔面は頬骨を欠損するほかは、ほぼ完全である。鼻骨はこの年令にしては隆起しており、眉間の突出は強くて、鼻根部には陥凹が認められる。

計測値は頬骨弓幅が(56×2=112)mm、中顔幅は(40×2=80)mm、上顔高は52mmで、上顔高はやや大きい。コルマン氏およびウイルヒョウ氏の上顔示数は(46.43)、(65.00)となり、顔面型はそれぞれhypereuryen(過広上顔)に近いeuryen(広上顔)、きわめてchamaeprosop(低上顔)に近いhyperchamaeprosop(過低上顔)に属している。上顔高がやや大きいために、上顔示数はこれまでの立切地下式横穴墓出土の幼小児骨よりはやや大きくて、低顔傾向はそれほど強くはない。

眼窩は眼窩示数が86.49(左)で、hypsikonch(高眼窩)に属し、鼻示数は52.63で、mesorrhin(中鼻)に近いchamaerrhin(低鼻)に属している。眼窩および鼻部の形態も顔面全体の傾向と同様に低い傾向は認められない。

残存している歯を歯式で示すと、次のとおりである。

|                   |                   |                   |     |                   |                   |                   |                   |     |                   |                   |                   |
|-------------------|-------------------|-------------------|-----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-----|-------------------|-------------------|-------------------|
| (M <sub>2</sub> ) | (P <sub>2</sub> ) | (P <sub>1</sub> ) | (C) | (I <sub>2</sub> ) | (I <sub>1</sub> ) | (I <sub>1</sub> ) | (I <sub>2</sub> ) | (C) | (P <sub>1</sub> ) | (P <sub>2</sub> ) | (M <sub>2</sub> ) |
| /                 | m <sub>2</sub>    | m <sub>1</sub>    | c   | i <sub>2</sub>    | i <sub>1</sub>    | i <sub>1</sub>    | i <sub>2</sub>    | c   | /                 | /                 | /                 |
| M <sub>1</sub>    | /                 | /                 | /   | /                 | /                 | /                 | /                 | /   | /                 | /                 | /                 |
| /                 | (P <sub>2</sub> ) | (P <sub>1</sub> ) | (C) | (I <sub>2</sub> ) | (I <sub>1</sub> ) | /                 | (I <sub>2</sub> ) | C   | (P <sub>1</sub> ) | (P <sub>2</sub> ) | /                 |

上顎の歯はすべて釘植し、下顎の歯は遊離している。乳歯はすべて萌出し、第二乳臼歯にBrocaの1度、その他は2度の咬耗が認められる。永久歯は下顎の第一大臼歯にBrocaの1度の咬耗が認められ、上顎も歯槽の状態から萌出直後と考えられる。また、下顎の犬歯、第一および第二小白歯は歯冠がちょうど完成している。

## 2. 骨化

大泉門のみが観察でき、この部は閉鎖している。

## 3. 特殊所見

左右の眼窩にはcribra orbitaliaは認められない。外耳道は両側ともに欠損しており、その他の残存部にも特に骨疾患は認められない。

## 4. 年令

上顎の第一大臼歯は藤田によれば男性平均6歳8ヶ月、女性平均6歳4ヶ月で萌出し、この人骨では萌出直後であるので6歳と推測される。歯冠の完成度は3本とも金田の6歳に相当している。以上から、この人骨の年令は約6歳の小児(I期)と推定される。

# 考 察

立切地下式横穴墓から出土した古墳時代幼小児骨を、周辺地域で出土した弥生時代、古墳時代幼小児骨および近代(明治～大正)の幼小児骨と比較して、その特徴について検討してみた。

## 1. 頭蓋

### 1) 脳頭蓋

脳頭蓋の計測値は表3に示しているように、立切地下式横穴幼小児骨のうち頭蓋長幅示数が得られたのは35-1号(13歳)のみで、示数値は(83.63)となり、頭型は過短頭に近い短頭型に属している。この値は大友弥生小児骨の平均値よりもかなり大きく、ほぼ同年令の横隈狐塚および近代人よりも大きい値を示しており、地下式横穴墓出土の旭台および鹿児島県奄美大島出土の長浜金久と同様に、短頭傾向が著しい。

表3 脳頭蓋計測値 (mm) (Table 3. Measurements and indices of the calvaria)

|                | 地下式横穴(古墳)     |              |                 | 弥 生        |              |                |
|----------------|---------------|--------------|-----------------|------------|--------------|----------------|
|                | 立 切           |              | 旭 台             | 長浜金久       | 大 友          | 横隈狐塚           |
|                | 35-1<br>(13歳) | 3-5<br>(14歳) | 3-3<br>(16-17歳) | 1<br>(15歳) | (13歳)<br>n M | K-156<br>(12歳) |
| 1. 頭蓋最大長       | (171)         | —            | 174             | 172        | 2 176.00     | 177            |
| 8. 頭蓋最大幅       | 143           | —            | (147)           | 145        | 2 135.50     | 145            |
| 17. バジオン・プレグマ高 | —             | 139          | 136             | 129        | 2 130.00     | —              |
| 8/1 頭蓋長幅示数     | (83.63)       | —            | (84.48)         | 84.30      | 2 77.09      | 81.92          |

|                | 近 代 人 |        |      |      |        |      |       |        |      |      |        |      |
|----------------|-------|--------|------|------|--------|------|-------|--------|------|------|--------|------|
|                | (13歳) |        |      |      |        |      | (14歳) |        |      |      |        |      |
|                | (男性)  |        |      | (女性) |        |      | (男性)  |        |      | (女性) |        |      |
|                | n     | M      | s    | n    | M      | s    | n     | M      | s    | n    | M      | s    |
| 1. 頭蓋最大長       | 5     | 175.20 | 4.97 | 7    | 165.57 | 7.02 | 8     | 168.75 | 8.97 | 2    | 169.00 |      |
| 8. 頭蓋最大幅       | 5     | 141.00 | 7.97 | 7    | 133.86 | 3.48 | 8     | 138.63 | 6.61 | 2    | 135.00 |      |
| 17. バジオン・プレグマ高 | 5     | 134.20 | 6.61 | 7    | 130.86 | 5.43 | 8     | 130.25 | 5.23 | 2    | 133.50 |      |
| 8/1 頭蓋長幅示数 ※   | 6     | 80.96  | 3.39 | 11   | 81.10  | 5.44 | 18    | 81.83  | 5.46 | 11   | 79.46  | 4.85 |

※ 8/1頭蓋長幅示数は、近代人13歳は12-13歳の平均値、14歳は14-15歳の平均値である。

他の立切地下式横穴出土の幼小児骨では、頭蓋長幅示数の推定値が63-2号(5歳)は(80.25)、26-4号(14歳)は(79.53)で、頭型は中頭型と短頭型の境界にありそれほど短頭傾向は著しくないが、観察によった3-3号(7歳)、68-2号(7歳)、35-1号(13歳)は短頭傾向が強かうかがわれる。全体的に見ても立切地下式横穴出土の幼小児骨の頭型は、近代人よりもその傾向が強く、これまでの宮崎県の地下式横穴墓出土の古墳時代の幼小児骨や奄美大島の長浜金久出土の弥生時代小児骨と類似したものである。

### 2) 顔面頭蓋

顔面頭蓋の計測値を表4,5において、年令ごとに対比してみると、先ず立切の頬骨弓幅および中顔幅、いわゆる顔面の幅径は、これまでの地下式横穴墓や長浜金久出土小児骨と同様に、

北部九州の横隈狐塚出土の弥生時代小児骨、近代人はもとより西北九州出土の浜郷および大友小児骨よりも大きい値を示している。顔面の高径である顔高、上顔高は、他の地下式横穴小児骨、長浜金久、浜郷および大友と同様に、横隈狐塚および近代人よりもかなり小さい値を示す。したがって、コルマン氏およびウイルヒョウ氏の顔示数や上顔示数は、横隈狐塚と近代人の小児骨に比べて小さい値となっている。

顔面全体の形態については、従来から西北九州地域出土の弥生時代小児骨は近代人よりも低顔の傾向を示しているが、立切地下式横穴小児骨はその傾向がより強く認められる。

次いで眼窩については、計測値そのものに大差はないが、眼窩示数は6歳以下2例(63-2号、68-3号)を除いて、7歳以降の3例は近代人よりもかなり低眼窩である。

表4 顔面頭蓋計測値 (mm) (Table 4. Measurements and indices of the facial crania)

|               | 地下式横穴(古墳) |         |       |       |         |         |        |         |       | 弥生     |   |         |    |          |          |    |        |      |      |        |      | 近代人  |        |      |       |        |      |  |  |  |  |  |  |
|---------------|-----------|---------|-------|-------|---------|---------|--------|---------|-------|--------|---|---------|----|----------|----------|----|--------|------|------|--------|------|------|--------|------|-------|--------|------|--|--|--|--|--|--|
|               | 立切        |         |       |       | 原村上     | 市の瀬     | 大萩     | 旭台      | 上の原   | 長浜金久   |   |         | 浜郷 |          |          | 大友 |        |      | 横隈狐塚 |        |      | (6歳) |        |      | (13歳) |        |      |  |  |  |  |  |  |
|               | 63-2      | 68-3    | 35-1  | 3-5   | 2-4     | 9-3     | 3-3    | 11-5    | 8     | 1      | 2 | 3       | n  | M        | s        | n  | M      | s    | n    | M      | s    | n    | M      | s    | n     | M      | s    |  |  |  |  |  |  |
| 45. 頬骨弓幅      | (108)     | (112)   | 127   | 123   | —       | (112)   | 118    | —       | —     | 121    | 1 | (107)   | 2  | (117.00) | —        | 4  | 106.00 | 3.56 | 4    | 100.75 | 2.22 | 5    | 120.00 | 4.95 | 7     | 115.71 | 3.04 |  |  |  |  |  |  |
| 46. 中顔幅       | (82)      | (80)    | 100   | 95    | (80)    | 83      | 89     | 95      | 95    | 93     | 2 | 80.50   | 2  | (86.50)  | (80)     | 4  | 79.00  | 2.00 | 4    | 75.00  | 5.35 | 5    | 88.00  | 3.16 | 7     | 86.00  | 3.56 |  |  |  |  |  |  |
| 47. 顔高        | —         | —       | 97    | —     | —       | 85      | 99     | —       | —     | 93     | 2 | 91.00   | 1  | 93       | 84       | 2  | 91.00  | —    | 3    | 82.00  | —    | 4    | 103.50 | 4.80 | 5     | 102.20 | 5.72 |  |  |  |  |  |  |
| 48. 上顔高       | 45        | 52      | 56    | 53    | 51      | 47      | 56     | (56)    | 58    | 54     | 2 | 51.50   | 2  | 53.50    | (53)     | 3  | 54.33  | —    | 4    | 51.25  | 5.74 | 5    | 61.00  | 3.32 | 7     | 59.57  | 2.57 |  |  |  |  |  |  |
| 47/45 顔示数(K)  | —         | —       | 76.38 | —     | —       | (75.89) | 83.90  | —       | —     | 76.86  | 1 | (85.98) | 1  | (79.49)  | —        | 6  | 85.73  | 1.43 | 3    | 81.65  | —    | 5    | 86.09  | 1.58 | 7     | 86.54  | 5.46 |  |  |  |  |  |  |
| 48/45 上顔示数(K) | (41.67)   | (46.43) | 44.09 | 43.09 | —       | (41.96) | 47.46  | —       | —     | 44.63  | 1 | 47.66   | 2  | (45.73)  | —        | 7  | 50.44  | 2.29 | 4    | 50.80  | 4.79 | 7    | 51.32  | 2.45 | 11    | 51.16  | 2.61 |  |  |  |  |  |  |
| 47/46 顔示数(V)  | —         | —       | 97.00 | —     | —       | 102.41  | 111.24 | —       | —     | 100.00 | 2 | 113.06  | 1  | (108.14) | (105.00) | 6  | 116.33 | 4.23 | 3    | 108.55 | —    | 5    | 116.10 | 3.90 | 7     | 116.62 | 6.72 |  |  |  |  |  |  |
| 48/46 上顔示数(V) | (54.88)   | (65.00) | 56.00 | 55.79 | (63.75) | 56.63   | 62.92  | (58.95) | 61.05 | 58.06  | 2 | 64.01   | 2  | (61.84)  | (66.25)  | 7  | 68.42  | 3.38 | 4    | 68.43  | 7.53 | 7    | 69.82  | 4.93 | 11    | 69.22  | 2.97 |  |  |  |  |  |  |

※ 近代人については、6歳は6-7歳、13歳は12-13歳の平均値である。

元来眼球は神経系に属す器官とされ、近代人の場合も生後から6歳程度までの眼窩の形態は高眼窩にあり、その後徐々に中眼窩へと移行して行っている。そのために、移行期までのものは、その他の小児骨を含め立切地下式横穴小児骨でも、近代人との差が顕著でなく、その後顔面全体の発育にともなって差が著しくなることが予想される。

鼻部の形態は、近代人に比べて低鼻傾向を示す例が多い。これは鼻幅が大きいことよりもむしろ鼻高が小さい、つまり顔面全体の形態の影響によるものと考えられる。

これらの傾向は、図2,3の近代人を基線とした偏差折線を描いてみても明らかで、地下式横穴出土の各幼小児骨の振れは大きい。

表5 顔面頭蓋計測値 (mm) (table 5. Measurements and indices of the facial crania)

|               | 地下式横穴(古墳)     |               |             |                |              |             |             |             |                |            |
|---------------|---------------|---------------|-------------|----------------|--------------|-------------|-------------|-------------|----------------|------------|
|               | 立 切           |               |             |                |              | 原村上         | 市の瀬         | 大 萩         | 旭 台            | 上の原        |
|               | 6 3-2<br>(5歳) | 6 8-3<br>(6歳) | 3-3<br>(7歳) | 3 5-1<br>(13歳) | 3-5<br>(14歳) | 2-4<br>(6歳) | 9-3<br>(8歳) | 3-3<br>(8歳) | 1 1-5<br>(12歳) | 8<br>(16歳) |
| 51. 眼窩幅(左)    | 37(R)         | 37            | 40          | 40             | 40           | 35          | 37          | 39          | 38             | 42         |
| 52. 眼窩高(左)    | 31(R)         | 32            | 31          | 31             | 30           | 31          | 30          | 31          | 31             | 33         |
| 52/51 眼窩示数(左) | 83.78(R)      | 86.49         | 77.50       | 77.50          | 75.00        | 88.57       | 81.08       | 79.49       | 81.58          | 78.57      |
| 54. 鼻 幅       | 20            | 20            | -           | 22             | 24           | 20          | 19          | 21          | 23             | 25         |
| 55. 鼻 高       | 33            | 38            | -           | 43             | 39           | 37          | 37          | 41          | 42             | 45         |
| 54/55 鼻示数     | 60.61         | 52.63         | -           | 51.16          | 61.54        | 54.05       | 51.35       | 51.22       | 54.76          | 55.56      |

|                | 弥 生   |     |       |       |       | 近 代 人 |   |       |      |   |       |       |   |       |      |    |       |      |
|----------------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|---|-------|------|---|-------|-------|---|-------|------|----|-------|------|
|                | 長浜金久  | 浜 郷 |       | 大 友   | 横隈狐塚  | (6歳)  |   |       |      |   |       | (13歳) |   |       |      |    |       |      |
|                | 1     |     |       | (13歳) | K-108 | (男性)  |   |       | (女性) |   |       | (男性)  |   |       | (女性) |    |       |      |
|                | (15歳) | n   | M     | n     | M     | n     | M | s     | n    | M | s     | n     | M | s     | n    | M  | s     |      |
| 51. 眼窩幅(左)     | 39(R) | 1   | 38    | 2     | 40.00 | 37    | 4 | 36.50 | 0.58 | 4 | 36.25 | 1.89  | 5 | 39.60 | 1.14 | 7  | 39.14 | 1.86 |
| 52. 眼窩高(左)     | 31    | 1   | 31    | 2     | 29.50 | 31    | 4 | 30.50 | 0.58 | 4 | 31.25 | 2.50  | 5 | 32.60 | 1.82 | 7  | 32.57 | 1.62 |
| 52/51 眼窩示数(左)※ | -     | 1   | 81.58 | 2     | 73.83 | 83.78 | 8 | 83.62 | 2.90 | 5 | 85.59 | 3.83  | 7 | 82.73 | 3.02 | 11 | 83.33 | 3.97 |
| 54. 鼻 幅        | -     | 2   | 19.50 | 2     | 23.50 | -     | 4 | 21.50 | 1.29 | 4 | 20.25 | 2.06  | 5 | 23.60 | 2.30 | 7  | 22.43 | 1.27 |
| 55. 鼻 高        | 42    | 2   | 37.50 | 1     | 40    | -     | 4 | 39.75 | 2.63 | 4 | 37.50 | 4.12  | 5 | 46.00 | 3.08 | 7  | 44.71 | 2.43 |
| 54/55 鼻示数※     | -     | 2   | 52.03 | 1     | 57.50 | -     | 8 | 53.22 | 2.77 | 5 | 55.45 | 6.09  | 7 | 50.96 | 3.75 | 11 | 48.60 | 3.20 |

※ 近代人については、6歳は6-7歳、13歳は12-13歳の平均値である。

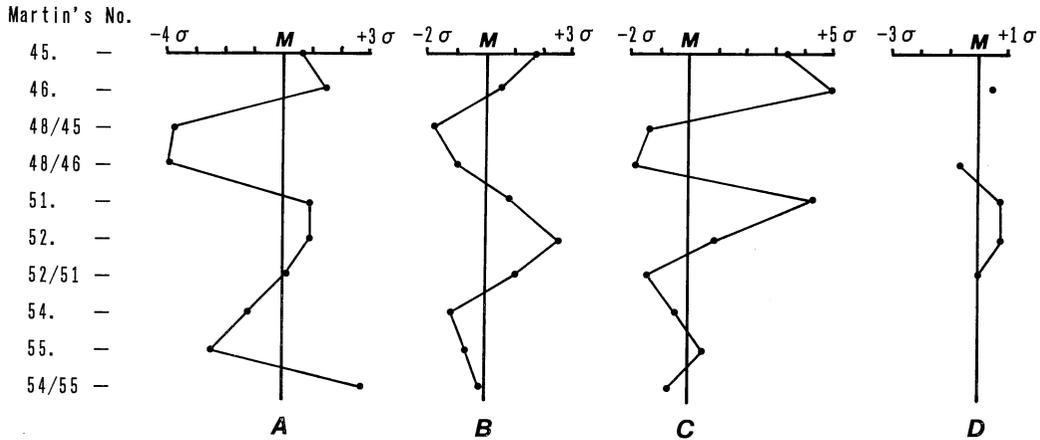


図2. 近代人(男性、6歳)を基線とする偏差折線

A:立切63-2号 B:立切68-3号 C:大萩3-3号 D:横隈狐塚 K-108

(Fig.2. Standardized deviations from the modern male series of 6 years old.

A:Tachikiri 63-2, B:Tachikiri 68-3, C:Ohhagi 3-3 D:Yokokumakitsunozuka K-108)

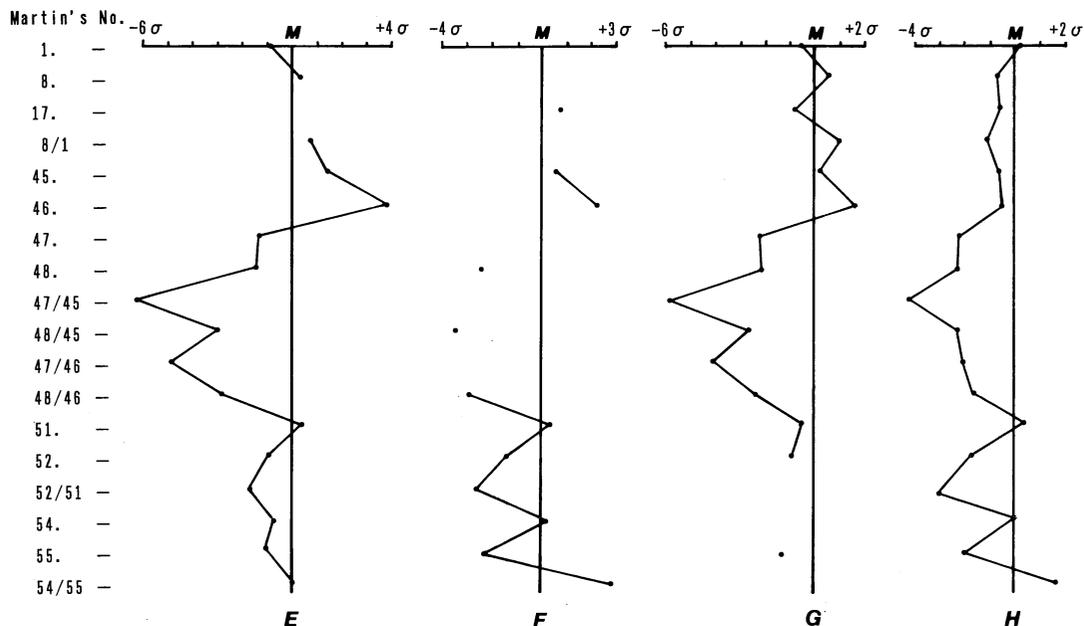


図3. 近代人(男性、13歳)を基線とする偏差折線

E:立切35-1号 F:立切3-5号 G:長浜金久1号 H:大友

(Fig.3. Standardized deviations from the modern male series of 13 years old.

E:Tachikiri 35-1, F:Tachikiri 3-5, G:Nagahamakaneku 1 H:Ohtomo)

## 2. 四肢骨

### 1) 上腕骨

立切地下式横穴出土小児骨の上腕骨について、表6において他遺跡出土のものと比較してみると、立切10歳例(64-2号)は骨体がやや細くて、骨体断面示数は小さい値を示して、骨体はやや扁平である。また、15歳(女性)例(60-2号)は、骨体は太く頑丈であるが、骨体断面示数は大きくて、骨体に扁平性は認められない。以上のように、立切小児骨の上腕骨は、出土例が少ないこともあり、骨体の形態の異なるものが混在している。

表6 上腕骨計測値 (mm) (Table 6. Measurements and indices of the right humerus)

|       | 地下式横穴(古墳)     |               |             |                  |            | 弥生         |          |   |       |       |       |       |          |   |          |
|-------|---------------|---------------|-------------|------------------|------------|------------|----------|---|-------|-------|-------|-------|----------|---|----------|
|       | 立切            |               | 市の瀬         | 旭台               | 上の原        | 長浜金久       | 浜郷       |   | 大友    |       |       |       |          |   |          |
|       | 64-2<br>(10歳) | 60-2<br>(15歳) | 9-4<br>(9歳) | 11-2<br>(16-17歳) | 8<br>(16歳) | 1<br>(15歳) | n        | M | (9歳)  | (10歳) | (13歳) | (15歳) |          |   |          |
| 5.    | 中央最大径         | 14.7          | 18.2        | 15.1(L)          | 17.6       | 18         | 16.3(L)  | 1 | 16.7  | 1     | 16.0  | 2     | 15.90(L) | 1 | 15.7(L)  |
| 6.    | 中央最小径         | 11.3          | 15.5        | 10.6(L)          | 13.2       | 12         | 11.5(L)  | 1 | 12.5  | 1     | 12.2  | 2     | 12.35(L) | 1 | 13.5(L)  |
| 7(a). | 中央周           | 43.5          | 56.0        | 42.0(L)          | 51.0       | 51         | 47.5(L)  | 1 | 47.0  | 1     | 46.0  | 2     | 45.50(L) | 1 | 47.5(L)  |
| 6/5   | 骨体断面示数        | 76.87         | 85.16       | 70.20(L)         | 75.00      | 66.67      | 70.55(L) | 1 | 74.85 | 1     | 76.25 | 2     | 77.71(L) | 1 | 85.99(L) |

### 2) 大腿骨

計測値は表7に示しているように、立切の骨体の太さは、10歳例(64-2号)は細いものの、

その他は大友の同年令の値に近い。長厚示数は13歳例(35-1号)のみが算出でき、数値は同年令の大友よりは小さいが、ほぼ同年令の横隈狐塚および長浜金久よりは大きくて、骨体はそれらよりは長さの割りに太い。骨体中央断面示数は、14歳以降の数値が横隈狐塚および長浜金久よりも大きくて、粗線および骨体の後方への突出が良好で、従来からの地下式横穴出土の小児骨や大友小児骨に近い。上骨体断面示数も横隈狐塚および長浜金久よりもかなり小さくて、骨体上部の扁平性が著しい。

以上、立切小児骨の大腿骨骨体は、長浜金久よりも太く頑丈で、骨体中央と上部の形態は、横隈狐塚および長浜金久と大きく異なって、地下式横穴出土の小児骨や大友小児骨と共通性が認められる。

表7 大腿骨計測値 (mm) (table 7. Measurements and indices of the right femur)

|              | 地下式横穴(古墳)     |               |              |               |               |             |               |                 |                  |                  |            |
|--------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|-------------|---------------|-----------------|------------------|------------------|------------|
|              | 立切            |               |              |               |               | 市の瀬         |               | 旭台              |                  | 縄瀬小              | 上の原        |
|              | 64-2<br>(10歳) | 35-1<br>(13歳) | 3-5<br>(14歳) | 26-4<br>(14歳) | 60-2<br>(15歳) | 9-4<br>(9歳) | 11-5<br>(12歳) | 3-3<br>(16-17歳) | 11-2<br>(16-17歳) | 47-3<br>(13-14歳) | 8<br>(16歳) |
| 1. 最大長       | -             | 330(L)        | -            | -             | -             | 289         | -             | 341(L)          | -                | -                | -          |
| 8. 骨体中央周     | 51.0          | 62.0          | 60.0         | 61.0          | 67.0          | 57.0        | 53.0          | 67.0(L)         | 66.5             | 66.0(L)          | 63         |
| 8/1 長厚示数 ※   | -             | 19.39(L)      | -            | -             | -             | 19.72       | -             | 19.65(L)        | -                | -                | -          |
| 6/7 骨体中央断面示数 | 101.88        | 100.00        | 114.77       | 111.11        | 117.19        | 90.48       | 107.59        | 116.00(L)       | 113.78           | 116.16(L)        | 122.22     |
| 10/9 上骨体断面示数 | 76.65(L)      | -             | -            | 78.73         | 75.20(L)      | 74.01       | -             | -               | -                | -                | -          |

|              | 弥生         |      |           |       |        |       |        |       |        |
|--------------|------------|------|-----------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
|              | 長浜金久       | 浜郷   |           | 大友    |        |       | 横隈狐塚   |       |        |
|              | 1<br>(15歳) | (9歳) |           | (10歳) |        | (13歳) | (15歳)  |       |        |
|              | n          | M    | n         | M     | n      | M     | n      | M     |        |
| 1. 最大長       | 318(L)     | 2    | 296.50(L) | -     | 1      | 313   | -      | 333   |        |
| 8. 骨体中央周     | 58.0       | 2    | 60.50     | 1     | 58.0   | 2     | 60.50  | 1     | 63.0   |
| 8/1 長厚示数 ※   | 17.92(L)   | 2    | 20.57(L)  | -     | 1      | 19.49 | -      | 19.22 |        |
| 6/7 骨体中央断面示数 | 106.59     | 2    | 99.99     | 1     | 131.01 | 2     | 110.17 | 1     | 118.89 |
| 10/9 上骨体断面示数 | 80.63      | 2    | 80.84     | -     | -      | -     | -      | 80.26 | 82.97  |

1.最大長は、両端を除いた骨体の計測値である。

※ 8/1長厚示数は本来8/2であるが、資料数を増やすためにこれを用いた。

### 3) 脛骨

計測値は表8に示しているとおりでであるが、立切小児骨の骨体の太さは、同年令のものに比べて、太い例と細い例が混在している。長厚示数の得られた13歳例(35-1号)の示数値は、横隈狐塚および長浜金久よりは大きくて、それらよりも長さの割りに骨体は太く頑丈である。14歳例(26-4)を除いた各断面示数は、長浜金久、浜郷、大友の各小児骨と同様に、横隈狐塚よりはかなり小さくて、骨体は扁平である。

表8 脛骨計測値 (mm) (Table 8. Measurements and indices of the right tibia)

|                | 地下式横穴 (古墳)       |                  |                  |                  |               |                  |                   |                     |            |
|----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---------------|------------------|-------------------|---------------------|------------|
|                | 立 切              |                  |                  | 市の瀬              |               | 旭 台              |                   | 上の原                 |            |
|                | 6 4 - 2<br>(10歳) | 3 5 - 1<br>(13歳) | 2 6 - 4<br>(14歳) | 6 0 - 2<br>(15歳) | 9 - 4<br>(9歳) | 1 1 - 5<br>(12歳) | 3 - 3<br>(16-17歳) | 1 1 - 2<br>(16-17歳) | 8<br>(16歳) |
|                | (女性)             |                  |                  |                  |               |                  |                   |                     |            |
| 1a. 脛骨最大長      | —                | 268(L)           | —                | —                | —             | —                | —                 | —                   | —          |
| 10. 骨 体 周      | 49.0             | 64.0(L)          | 65.5(L)          | 57.5             | 56.0          | 57.5(L)          | 66.0              | 65.0(L)             | 58         |
| 10a. 栄養孔位周     | —                | 73.5(L)          | 72.5(L)          | —                | 61.0          | 62.5(L)          | 70.0              | 74.0(L)             | —          |
| 10b. 最 小 周     | —                | 59.0(L)          | —                | —                | —             | —                | 62.5              | —                   | 54         |
| 9/8 中央断面示数     | 71.82            | 67.65(L)         | 79.83(L)         | 78.54            | 80.00         | 84.85(L)         | 77.45             | 71.49(L)            | —          |
| 9a/8a 栄養孔位断面示数 | —                | 71.59(L)         | 82.56(L)         | —                | 83.09         | 85.71(L)         | 76.77             | 70.40(L)            | 80.00      |
| 10b/1a 長厚示数 ※  | —                | 22.01(L)         | —                | —                | —             | —                | —                 | —                   | —          |

|                | 弥 生      |      |       |       |       |       |          |               |                |
|----------------|----------|------|-------|-------|-------|-------|----------|---------------|----------------|
|                | 長浜金久     | 浜 郷  |       | 大 友   |       |       | 横隈狐塚     |               |                |
|                | 1        | (9歳) |       | (10歳) |       | (13歳) | (15歳)    |               |                |
|                | (15歳)    | n    | M     | n     | M     | n     | M        | K-117<br>(9歳) | K-156<br>(12歳) |
| 1a. 脛骨最大長      | 256(L)   | 1    | 254   | —     | —     | —     | —        | 248           | 268            |
| 10. 骨 体 周      | 56.0     | 2    | 63.00 | 1     | 57.0  | 2     | 59.50(L) | 1             | 61.5           |
| 10a. 栄養孔位周     | 61.0     | 2    | 71.00 | —     | —     | 1     | 68.0     | 1             | 71.0           |
| 10b. 最 小 周     | 53.0     | 2    | 59.00 | 1     | 53.0  | 2     | 56.00(L) | 1             | 58.0           |
| 9/8 中央断面示数     | 76.62    | 2    | 73.71 | 1     | 76.62 | 2     | 74.01(L) | 1             | 72.77          |
| 9a/8a 栄養孔位断面示数 | 71.11    | 2    | 74.79 | —     | —     | 1     | 73.20    | 1             | 75.89          |
| 10b/1a 長厚示数 ※  | 20.70(L) | 1    | 23.23 | —     | —     | —     | —        | —             | 21.27          |

1a. 脛骨最大長は両端を除いた骨体の計測値である。

※ 10b/1a長厚示数は本来10b/1であるが、資料数を増やすためにこれを用いた。

以上、立切地下式横穴墓出土幼児小児骨の頭蓋および四肢骨の特徴は、これまでの地下式横穴墓出土の小児骨に近似したものであることは言うまでもないが、奄美大島出土の長浜金久弥生小児骨とは頭型および顔面の形態、西北九州地域の弥生小児骨とは顔面および四肢骨の形態に類似傾向が認められ、北部九州地域(カメ棺)出土の弥生小児骨および近代小児骨とは異なった特徴を示した。

地下式横穴墓出土の古墳時代成人骨に関しては、平野部においてはやや異なるものの(松下)、山間部のは縄文人の特徴を強く残し、その形質を受け継いだものとされている(内藤、松下)。一方、弥生時代の成人骨については、西北九州地域出土の弥生人は低・広顔、低身長を特徴とし、北部九州から山口県響灘沿岸地域出土の弥生人は高顔、高身長で、その特徴は現代人に近く、両者の間には地方差が存在している(内藤)。さらにその系譜については、前者は縄文人の特徴を強く残した在来系で、後者は大陸からの渡来系であるとされている。

このような成人骨における関係が地下式横穴墓出土の幼児小児骨についても認められ、特に顔面の形態は幼児期の終わり頃にはその特徴が出現するものと推測される。また、立切を含む地下式横穴墓出土幼児小児骨の顔面は、低顔傾向が西北九州地域の弥生小児骨よりも一層著しいものと考えられる。

## 要 約

宮崎県西諸県郡高原町に所在する立切地下式横穴墓群は、1987年から1988年にかけて発掘調査が行われ、72基の地下式横穴墓が発見された。このうち23基から総数76体の人骨が検出され、うち11体が幼小児骨であった。これらの幼小児骨についての人類学的観察および計測の結果を要約すると、次のとおりである。

1. 幼小児骨11体の構成は、2体が幼児、5体は小児Ⅰ期、4体は小児Ⅱ期で、このうち1例(小児Ⅱ期)の性別は女性と推定される。
2. 脳頭蓋は、13歳例(35-1号)の頭蓋長幅示数は(83.63)で、頭型は短頭型に属している。他の幼小児骨の観察所見も短頭型が多く、短頭の傾向が強く認められる。
3. 顔面頭蓋は、顔示数は13歳例が76.38(K)、97.00(V)で、上顔示数は5歳例が(41.67)(K)、(54.88)(V)、6歳例は(46.43)(K)、(65.00)(V)、13歳例は44.09(K)、56.00(V)、14歳例は43.09(K)、55.79(V)で、低・広顔の傾向が著しい。

眼窩示数は、5歳例が83.78(右)、6歳例は86.49(左)、7歳例は77.50(左)、13歳例は77.50(左)、14歳例は75.00(左)で、眼窩の形態も7歳以上のものは低眼窩の傾向が強い。

4. 上腕骨は、骨体断面示数が10歳例は76.87(右)で、骨体は扁平である。15歳例(女性)は85.16(右)で、骨体に扁平性は認められない。
5. 大腿骨は、骨体中央断面示数が10歳例は101.88(右)、13歳例は100.00(右)、14歳例は114.77(右)と111.11(右)、15歳例(女性)は117.19(右)で、14歳以上のものは粗線の発達が良好である。また、上骨体断面示数は、10歳例が76.65(左)、14歳例は78.73(右)、15歳例(女性)は75.20(左)で、骨体上部は3例ともに扁平である。
6. 脛骨は、中央断面示数が10歳例は71.82(右)、13歳例は67.65(左)、14歳例は79.83(左)、15歳例(女性)は78.54(右)で、10歳および13歳例の骨体はかなり扁平である。

以上、立切地下式横穴墓出土の幼小児骨は、頭型では奄美大島長浜金久弥生小児骨、顔面の形態は長浜金久および西北九州弥生小児骨、四肢骨は西北九州弥生小児骨に類似し、北部九州(カメ棺)弥生小児骨および近代幼小児骨とは異なる特徴を示している。

## 謝 辞

擧筆するにあたり、本研究と発表の機会を与えて頂いた宮崎県教育委員会文化課の諸先生方に感謝いたします。

表9 脳頭蓋計測値 (mm) ( Table 9. Measurements and indices of the calvaria )

|                | 3-3<br>(7歳) | 3-5<br>(14歳) | 35-1<br>(13歳) | 63-2<br>(5歳) | 68-2<br>(7歳) | 68-3<br>(6歳) |
|----------------|-------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 頭蓋最大長       | —           | —            | (171)         | —            | —            | —            |
| 8. 頭蓋最大幅       | —           | —            | 143           | —            | —            | —            |
| 17. バジオン・プレグマ高 | —           | 139          | —             | —            | —            | —            |
| 8/1 頭蓋長幅示数     | —           | —            | (83.63)       | —            | —            | —            |
| 17/1 頭蓋長高示数    | —           | —            | —             | —            | —            | —            |
| 17/8 頭蓋幅高示数    | —           | —            | —             | —            | —            | —            |
| 頭蓋モズルス         | —           | —            | —             | —            | —            | —            |
| 5. 頭蓋底長        | —           | 95           | —             | —            | —            | —            |
| 9. 最小前頭幅       | 97          | 98           | 99            | —            | 86           | —            |
| 10 最大前頭幅       | 121         | 112          | 118           | 111          | 105          | 112          |
| 9/10 横前頭示数     | 80.17       | 87.50        | 83.90         | —            | 81.90        | —            |
| 11. 両耳幅        | —           | —            | 123           | —            | —            | —            |
| 12. 最大後頭幅      | —           | —            | —             | —            | —            | —            |
| 13. 乳突幅        | —           | —            | —             | —            | —            | —            |
| 14. 最小頭骨幅      | —           | —            | 72            | —            | —            | —            |
| 14a. 前頭骨底幅     | —           | —            | 85            | —            | —            | —            |
| 7. 大後頭孔長       | —           | —            | —             | —            | —            | —            |
| 16. 大後頭孔幅      | —           | 28           | —             | —            | —            | —            |
| 16/7 大後頭示数     | —           | —            | —             | —            | —            | —            |
| 23. 頭蓋水平周      | —           | —            | —             | —            | —            | —            |
| 24. 横弧長        | —           | —            | 316           | —            | —            | —            |
| 25. 正中矢状弧長     | —           | —            | —             | —            | —            | —            |
| 26. 正中矢状前頭弧長   | 129         | 131          | 123           | 117          | —            | —            |
| 27. 正中矢状頭頂弧長   | —           | —            | 125           | —            | —            | —            |
| 28. 正中矢状後頭弧長   | —           | —            | —             | —            | —            | —            |
| 29. 正中矢状前頭弦長   | 108         | 112          | 107           | 100          | —            | 98           |
| 30. 正中矢状頭頂弦長   | —           | —            | 111           | —            | —            | —            |
| 31. 正中矢状後頭弦長   | —           | —            | —             | —            | —            | —            |
| 29/26 矢状前頭示数   | 83.72       | 85.50        | 86.99         | 85.47        | —            | —            |
| 30/27 矢状頭頂示数   | —           | —            | 88.80         | —            | —            | —            |
| 31/28 矢状後頭示数   | —           | —            | —             | —            | —            | —            |

表10 顔面頭蓋計測値 (mm) ( Table 10. Measurements and indices of the facial crania )

|                | 3-3   | 3-5   | 35-1  | 63-2    | 68-2  | 68-3    |
|----------------|-------|-------|-------|---------|-------|---------|
|                | (7歳)  | (14歳) | (13歳) | (5歳)    | (7歳)  | (6歳)    |
| 40. 顔長         | —     | 95    | —     | —       | —     | —       |
| 41. 側顔長        | 64    | 71(右) | 63    | 58(右)   | —     | 61      |
| 42. 下顔長        | —     | —     | —     | —       | —     | —       |
| 43. 上顔幅        | 101   | 101   | 103   | —       | 87    | —       |
| 45. 頬骨弓幅       | (122) | 123   | 127   | (108)   | —     | (112)   |
| 46. 中顔幅        | (90)  | 95    | 100   | (82)    | —     | (80)    |
| 47. 顔高         | —     | —     | 97    | —       | —     | —       |
| 48. 上顔高        | —     | 53    | 56    | 45      | —     | 52      |
| 47/45 顔示数(K)   | —     | —     | 76.38 | —       | —     | —       |
| 48/45 上顔示数(K)  | —     | 43.09 | 44.09 | (41.67) | —     | (46.43) |
| 47/46 顔示数(V)   | —     | —     | 97.00 | —       | —     | —       |
| 48/46 上顔示数(V)  | —     | 55.79 | 56.00 | (54.88) | —     | (65.00) |
| 顔面モズルス         | —     | —     | —     | —       | —     | —       |
| 49a. 眼間幅       | 23    | 19    | 24    | 18      | —     | —       |
| 50. 前眼窩間幅      | 18    | 17    | 21    | 14      | —     | 16      |
| 44. 両眼窩幅       | 95    | 95    | 96    | —       | —     | —       |
| 50/44 眼窩間示数    | 18.95 | 17.89 | 21.88 | —       | —     | —       |
| 51. 眼窩幅(右)     | 41    | 41    | 39    | 37      | —     | —       |
| (左)            | 40    | 40    | 40    | —       | —     | 37      |
| 51a. 眼窩幅(右)    | 39    | 39    | 37    | 34      | —     | —       |
| (左)            | 38    | 38    | 37    | —       | —     | —       |
| 52. 眼窩高(右)     | —     | 30    | 32    | 31      | —     | —       |
| (左)            | 31    | 30    | 31    | 32      | —     | 32      |
| 52/51 眼窩示数(右)  | —     | 73.17 | 82.05 | 83.78   | —     | —       |
| (左)            | 77.50 | 75.00 | 77.50 | —       | —     | 86.49   |
| 54. 鼻幅         | —     | 24    | 22    | 20      | 22    | 20      |
| 55. 鼻高         | —     | 39    | 43    | 33      | —     | 38      |
| 54/55 鼻示数      | —     | 61.54 | 51.16 | 60.61   | —     | 52.63   |
| 55(1). 梨状口高    | —     | 22    | 27    | 21      | —     | 22      |
| 56. 鼻骨長        | 17    | 17    | 17    | 13      | 15    | 18      |
| 57. 鼻骨最小幅      | 8     | 6     | 8     | 7       | 7     | 7       |
| 57(1). 鼻骨最大幅   | 15    | 13    | 16    | 14      | 15    | 14      |
| 57/57(1) 横鼻骨示数 | 53.33 | 46.15 | 50.00 | 50.00   | 46.67 | 50.00   |
| 60. 上顎齒槽長      | —     | 48    | 48    | —       | —     | —       |
| 61. 上顎齒槽幅      | —     | 58    | 63    | (54)    | —     | 53      |
| 62. 口蓋長        | —     | 42    | 43    | 35      | —     | 35      |
| 63. 口蓋幅        | —     | 34    | 39    | (30)    | —     | 31      |
| 64. 口蓋高        | —     | 7     | 9     | —       | —     | 8       |

表11 下顎骨計測値 (mm)

( Table 11. Measurements and indices of the mandible )

|             |           | 2 6 - 4 | 6 0 - 2 |
|-------------|-----------|---------|---------|
|             |           | (14歳)   | (15歳)   |
|             |           |         | (女性)    |
| 69.         | オトガイ高     |         | 27      |
| 70.         | 枝 高(右)    | —       | —       |
|             | (左)       | 61      | —       |
| 70(1).      | 前 枝 高(右)  | —       | —       |
|             | (左)       | 60      | —       |
| 70(2).      | 最小枝高(右)   | —       | —       |
|             | (左)       | 50      | —       |
| 70(3).      | 下顎切痕高(右)  | —       | —       |
|             | (左)       | 15      | —       |
| 71.         | 枝 幅(右)    | —       | —       |
|             | (左)       | 35      | —       |
| 71a.        | 最小枝幅(右)   | —       | —       |
|             | (左)       | 35      | —       |
| 71(1).      | 下顎切痕幅(右)  | —       | —       |
|             | (左)       | 33      | —       |
| 71/70       | 下顎枝示数(右)  | —       | —       |
|             | (左)       | 57.38   | —       |
| 71a/70(2)   | 下顎枝示数(右)  | —       | —       |
|             | (左)       | 70.00   | —       |
| 70(3)/71(1) | 下顎切痕示数(右) | —       | —       |
|             | (左)       | 45.45   | —       |

表12 鎖骨計測値 (mm) (Table 12.

Measurements and indices of the clavicle)

|     |            | 35-1  |
|-----|------------|-------|
|     |            | (13歳) |
| 1.  | 鎖骨最大長 (右)  | —     |
|     | (左)        | —     |
| 4.  | 中央垂直径 (右)  | 7.6   |
|     | (左)        | 7.0   |
| 5.  | 中央矢状径 (右)  | 10.4  |
|     | (左)        | 9.4   |
| 6.  | 中央周 (右)    | 29.5  |
|     | (左)        | 27.5  |
| 6/1 | 長厚示数 (右)   | —     |
|     | (左)        | —     |
| 4/5 | 鎖骨断面示数 (右) | 73.08 |
|     | (左)        | 74.47 |

表13 上腕骨計測値 (mm)

(Table 13. Measurements and indices of the humerus )

|       |            | 60-2  | 64-2  |
|-------|------------|-------|-------|
|       |            | (15歳) | (10歳) |
|       |            | (女性)  |       |
| 1.    | 上腕骨最大長 (右) | —     | —     |
|       | (左)        | —     | —     |
| 5.    | 中央最大径 (右)  | 18.2  | 14.7  |
|       | (左)        | —     | —     |
| 6.    | 中央最小径 (右)  | 15.5  | 11.3  |
|       | (左)        | —     | —     |
| 7.    | 骨体最小周 (右)  | —     | —     |
|       | (左)        | —     | —     |
| 7(a). | 中央周 (右)    | 56.0  | 43.5  |
|       | (左)        | —     | —     |
| 6/5   | 骨体断面示数 (右) | 85.16 | 76.87 |
|       | (左)        | —     | —     |
| 7/1   | 長厚示数 (右)   | —     | —     |
|       | (左)        | —     | —     |

表14 橈骨計測値 (mm)

(Table 14. Measurements and indices of the radius)

|                 | 60-2  | 64-2  |
|-----------------|-------|-------|
|                 | (15歳) | (10歳) |
|                 | (女性)  |       |
| 1. 最大長 (右)      | —     | —     |
| (左)             | —     | —     |
| 3. 最小周 (右)      | —     | 25.5  |
| (左)             | 35.0  | —     |
| 4. 骨体横径(右)      | 12.2  | 10.3  |
| (左)             | —     | —     |
| 4a. 骨体中央横径(右)   | 12.2  | 10.0  |
| (左)             | 12.9  | —     |
| 5. 骨体矢状径(右)     | 9.8   | 7.3   |
| (左)             | —     | —     |
| 5a. 骨体中央矢状径(右)  | 9.8   | 7.0   |
| (左)             | 9.8   | —     |
| 5(5). 骨体中央周(右)  | 35.0  | 26.5  |
| (左)             | 36.0  | —     |
| 5/4 骨体断面示数(右)   | 80.33 | 70.87 |
| (左)             | —     | —     |
| 5a/4a 中央断面示数(右) | 80.33 | 70.00 |
| (左)             | 75.97 | —     |

表15 大腿骨計測値 (mm) (Table 15. Measurements and indices of the femur)

|                 | 3-5<br>(14歳) | 26-4<br>(14歳) | 35-1<br>(13歳) | 60-2<br>(15歳)<br>(女性) | 64-2<br>(10歳) |
|-----------------|--------------|---------------|---------------|-----------------------|---------------|
| 1. 最大長(右)       | —            | —             | —             | —                     | —             |
| (左)             | —            | —             | 330 [363]     | —                     | —             |
| 2. 自然位全長(右)     | —            | —             | —             | —                     | —             |
| (左)             | —            | —             | —             | —                     | —             |
| 6. 骨体中央矢状径(右)   | 20.2         | 20.0          | 19.8          | 22.5                  | 16.3          |
| (左)             | —            | —             | 20.4          | 21.7                  | 16.1          |
| 7. 骨体中央横径(右)    | 17.6         | 18.0          | 19.8          | 19.2                  | 16.0          |
| (左)             | —            | —             | 20.5          | 19.4                  | 16.6          |
| 8. 骨体中央周(右)     | 60.0         | 61.0          | 62.0          | 67.0                  | 51.0          |
| (左)             | —            | —             | 64.0          | 66.0                  | 51.5          |
| 9. 骨体上横径(右)     | —            | 22.1          | —             | —                     | —             |
| (左)             | —            | —             | —             | 24.6                  | 19.7          |
| 10. 骨体上矢状径(右)   | —            | 17.4          | —             | —                     | —             |
| (左)             | —            | —             | —             | 18.5                  | 15.1          |
| 8/1 長厚示数 ※ (右)  | —            | —             | —             | —                     | —             |
| (左)             | —            | —             | 19.39 [17.63] | —                     | —             |
| 6/7 骨体中央断面示数(右) | 114.77       | 111.11        | 100.00        | 117.19                | 101.88        |
| (左)             | —            | —             | 99.51         | 111.86                | 96.99         |
| 10/9 上骨体断面示数(右) | —            | 78.73         | —             | —                     | —             |
| (左)             | —            | —             | —             | 75.20                 | 76.65         |

※ 8/1長厚示数は本来8/2であるが、資料数を増やすためにこれを用いた。

[ ]は、両骨端を接合した計測値である。

表16 脛骨計測値 (mm) (Table 16. Measurements and indices of the tibia)

|        |             | 2 6 - 4 | 3 5 - 1       | 6 0 - 2 | 6 4 - 2 |
|--------|-------------|---------|---------------|---------|---------|
|        |             | (14歳)   | (13歳)         | (15歳)   | (10歳)   |
|        |             |         |               | (女性)    |         |
| 1.     | 脛骨全長 (右)    | —       | —             | —       | —       |
|        | (左)         | —       | —             | —       | —       |
| 1a.    | 脛骨最大長(右)    | —       | —             | —       | —       |
|        | (左)         | —       | 268 [297]     | —       | —       |
| 1b.    | 脛骨長(右)      | —       | —             | —       | —       |
|        | (左)         | —       | — [289]       | —       | —       |
| 8.     | 中央最大径 (右)   | —       | —             | 20.5    | 18.1    |
|        | (左)         | 23.3    | 23.8          | 21.2    | 18.0    |
| 8a.    | 栄養孔位最大径(右)  | —       | —             | —       | —       |
|        | (左)         | 25.8    | 27.1          | —       | —       |
| 9.     | 中央横径 (右)    | —       | —             | 16.1    | 13.0    |
|        | (左)         | 18.6    | 16.1          | 16.1    | —       |
| 9a.    | 栄養孔位横径(右)   | —       | —             | —       | —       |
|        | (左)         | 21.3    | 19.4          | —       | —       |
| 10.    | 骨体周 (右)     | —       | —             | 57.5    | 49.0    |
|        | (左)         | 65.5    | 64.0          | 59.0    | —       |
| 10a.   | 栄養孔位周 (右)   | —       | —             | —       | —       |
|        | (左)         | 72.5    | 73.5          | —       | —       |
| 10b.   | 最小周 (右)     | —       | —             | —       | —       |
|        | (左)         | —       | 59.0          | —       | —       |
| 9/8    | 中央断面示数(右)   | —       | —             | 78.54   | 71.82   |
|        | (左)         | 79.83   | 67.65         | 75.94   | —       |
| 9a/8a  | 栄養孔位断面示数(右) | —       | —             | —       | —       |
|        | (左)         | 82.56   | 71.59         | —       | —       |
| 10b/1a | 長厚示数 ※ (右)  | —       | —             | —       | —       |
|        | (左)         | —       | 22.01 [19.87] | —       | —       |

※ 10b/1a長厚示数は本来10b/1であるが、資料数を増やすためにこれを用いた。

[ ]は、両骨端を接合した計測値である。

## 参 考 文 献

1. 藤田恒太郎、1965：歯の話。岩波書店。東京：57-98.
2. 金田義夫、1957：日本人の永久歯における歯根完成時期の研究。歯科月報、30：165-172.
3. 金関丈夫、1955：弥生人種の問題。日本考古学講座、4、河出書房、東京、：238-252.
4. 金関丈夫、1959：弥生時代の日本人。日本の医学—第15回日本医学会総会学術総会記録一、1：167-174.
5. 金関丈夫、永井昌文、佐野一、1960：山口県豊浦郡豊北町土井ヶ浜遺跡出土の弥生式時代人頭骨について。人類学研究、7（附録）：1-36.
6. 金関丈夫、1966：弥生時代人。日本の考古学、河出書房、東京、：460-471.
7. Martin-Saller, 1957：Lehrbuch der Anthropologie. Bd. I. Gustav Fisher, Verlag, Stuttgart：429-597.
8. 松下孝幸、1979：二塚山遺跡出土の弥生時代人骨。佐賀県文化財調査報告書、46：242-255.
9. 松下孝幸、1981：大友遺跡出土の弥生時代人骨。佐賀県呼子町文化財調査報告書、1：223-253.
10. 松下孝幸、1985：福岡県小郡市横隈狐塚遺跡出土の弥生時代人骨。小郡市埋蔵文化財発掘調査報告書、27：1-46.
11. 松下孝幸、1990：南九州地域における古墳時代人骨の人類学的研究。長崎医学会雑誌、65：781-804.
12. 内藤芳篤、1971：西北九州出土の弥生時代人骨。人類誌、79：236-248.
13. 中橋孝博、土肥直美、永井昌文、1985：金隈遺跡出土の弥生時代人骨。福岡市埋蔵文化財調査報告書、123：43-145.
14. 鈴木重一、1943：四肢化骨核発育に関するレ線学的研究(後編)。千葉医学会雑誌、21：397-415.
15. 分部哲秋、1981：日守地下式古墳出土の幼児骨。宮崎県文化財調査報告書、23：179-181.
16. 分部哲秋、1981：上の原地下式古墳群出土の成年骨。宮崎県文化財調査報告書、24：135-140.
17. 分部哲秋、1981：宮の本遺跡出土の幼小児骨。宮の本遺跡(佐世保市埋蔵文化財調査報告書)：110-113、119、147.
18. 分部哲秋、1981：佐賀県大友遺跡出土の幼小児骨。大友遺跡(佐賀県呼子町文化財調査報告書1)：254-264.
19. 分部哲秋、1983：宮崎県高原町旭台地下式横穴出土の古墳時代小児・成年骨。宮崎県文化財調査報告書、26：112-128.

20. 分部哲秋、1984：宮崎県野尻町大萩地下式横穴出土の古墳時代小児・成年骨。宮崎県文化財調査報告書、27：113-131.
21. 分部哲秋、1984：長崎県浜郷遺跡出土の弥生時代幼小児骨(会)。解剖学雑誌、59：410.
22. 分部哲秋、1985：福岡県小郡市横隈狐塚遺跡出土の弥生時代幼小児骨。小郡市文化財調査報告書、27：47-57.
23. 分部哲秋、1985：鹿児島県笠利町長浜金久第II遺跡出土の弥生時代小児骨。鹿児島県埋蔵文化財調査報告、32：1-10.
24. 分部哲秋、1986：宮崎県国富町市の瀬地下式横穴墓群出土の古墳時代小児骨。国富町文化財調査資料、4：187-202.
25. 分部哲秋、1988：宮崎県高崎町出土の古墳時代幼小児骨。高崎町文化財調査報告、1：159-174.
26. 分部哲秋、1990：日本人幼小児頭蓋の形態学的研究。長崎医学会雑誌、65(4)：805-824.
27. 分部哲秋、1991：宮崎県えびの市広畑遺跡出土の古墳時代小児・成年骨。えびの市文化財調査報告書、7：1-15.

Human Skeletal Remains Excavated from Tachikiri Site, Takaharu-cho,  
Miyazaki Prefecture.

Tetsuaki WAKEBE

[Second Department of Anatomy, Nagasaki University School of Medicine]

Keywords: Miyazaki Pref., Tomb with underground chamber, Kofun  
skeleton, Juvenile skeleton, Brachycrany, Low and wide face

Seventy-six human skeletal remains dating from the middle phase to the late phase of the Kofun period (5th century A.D. ~6th century A.D.), consisting of 65 adults and 11 minors, were excavated from tombs with underground chamber at the Tachikiri site, Takaharu-cho, Miyazaki prefecture, 1987 and 1988.

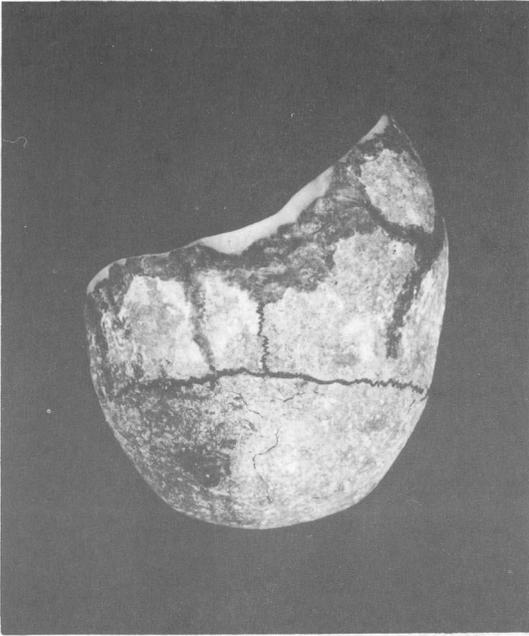
An anthropological study of the juvenile skeletal remains was conducted.

The minors consist of 2 infants and 9 juveniles.

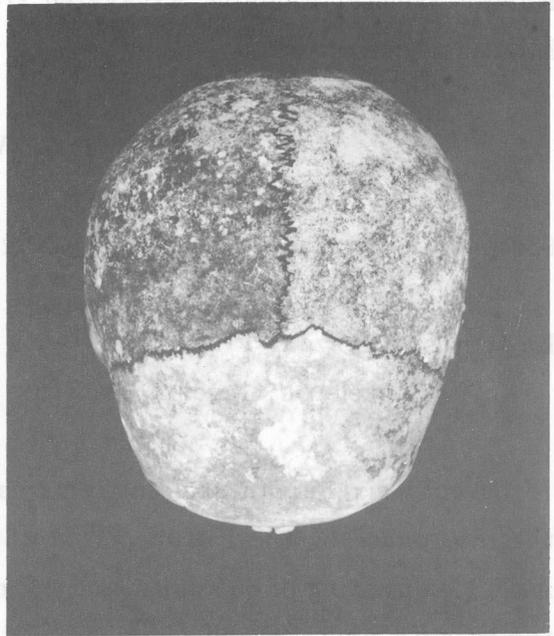
The length-breadth index is [83.63] (13 years), its cranial type is brachycranial.

In the face, the facial indices are 76.38(K) and 97.00(V) (13 years). The upper facial indices are [41.67] (K), [54.88] (V) (5 years), [46.43] (K), [65.00] (V) (6 years), 44.09(K), 56.00(V) (13 years), 43.09(K), 55.79(V) (14 years).

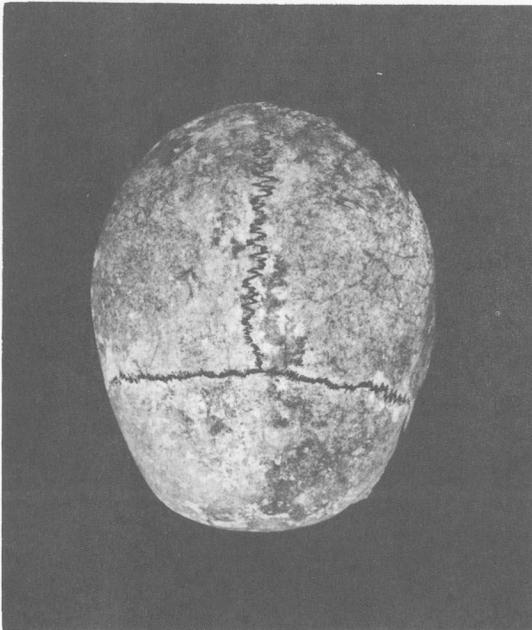
The minors have a low and wide face, are close to the Yayoi juvenile excavated from Northwest Kyushu area.



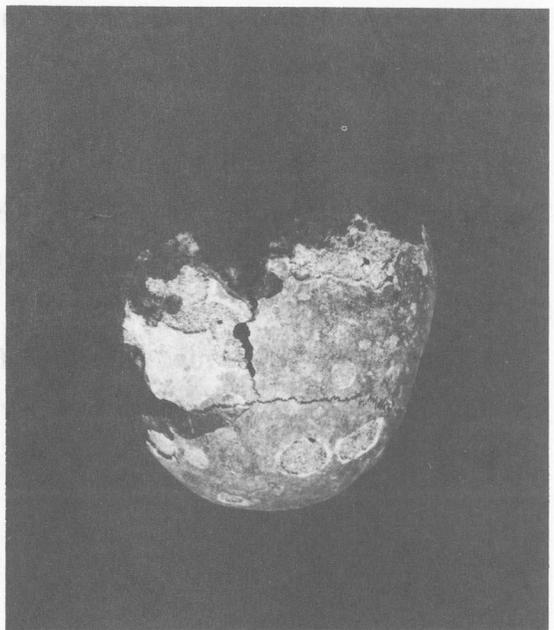
立切 3-3 (7歳、小児Ⅰ期)  
(Tachikiri 3-3, 7 years)



立切 35-1 (13歳、小児Ⅱ期)  
(Tachikiri 35-1, 13 years)



立切 63-2 (5歳、幼児)  
(Tachikiri 63-2, 5 years)

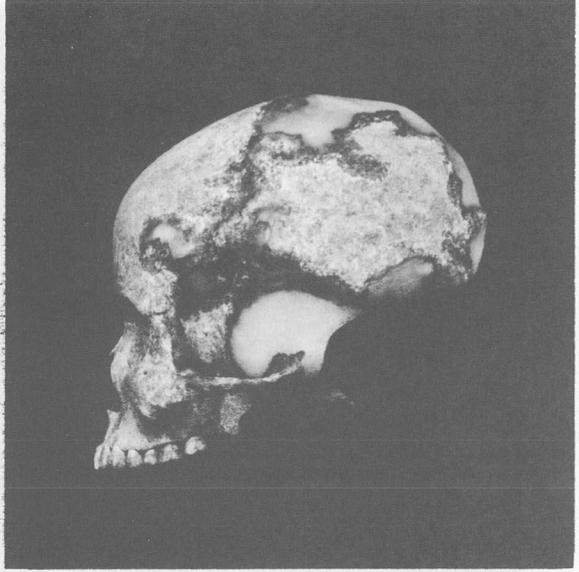


立切 68-2 (7歳、小児Ⅰ期)  
(Tachikiri 68-2, 7 years)

頭蓋上面 (Superior view of the skull)



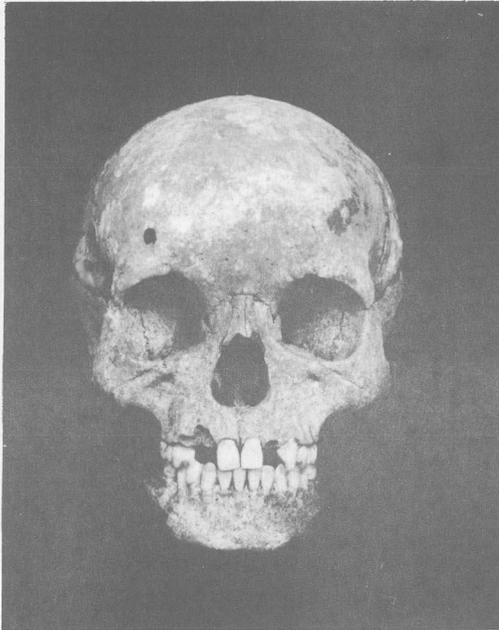
頭蓋前面 (Frontal view of the skull)



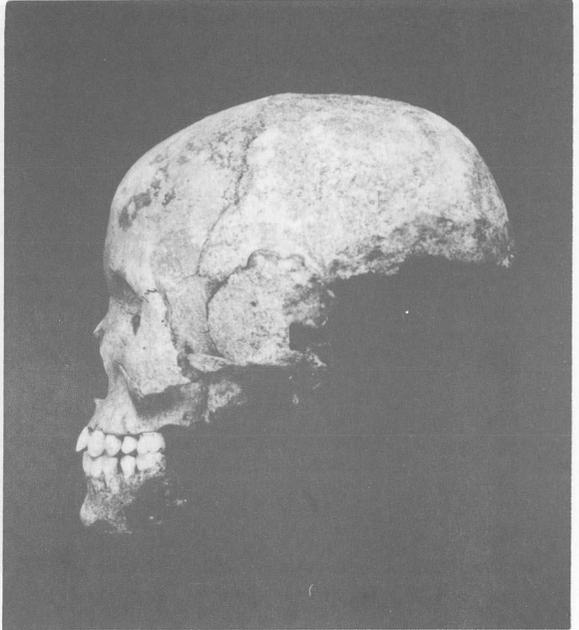
頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

立切 3-5 (14歳、小児Ⅱ期)

(Tachikiri 3-5, 14 years)



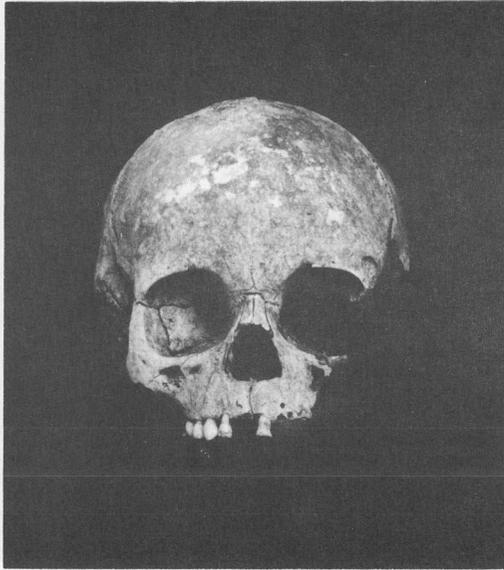
頭蓋前面 (Frontal view of the skull)



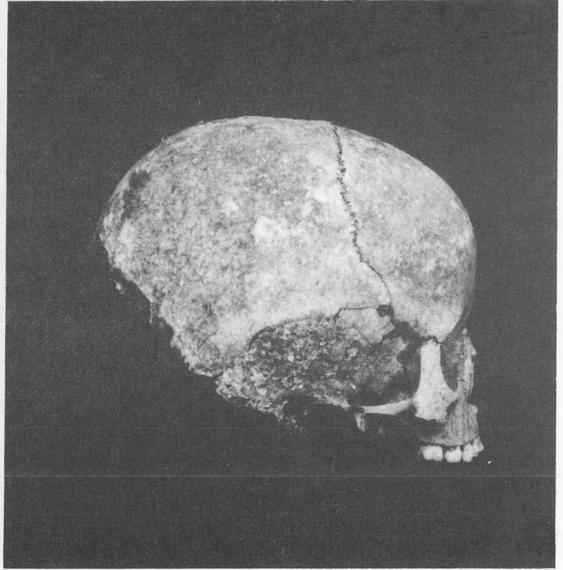
頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

立切 35-1 (13歳、小児Ⅱ期)

(Tachikiri 35-1, 13 years)



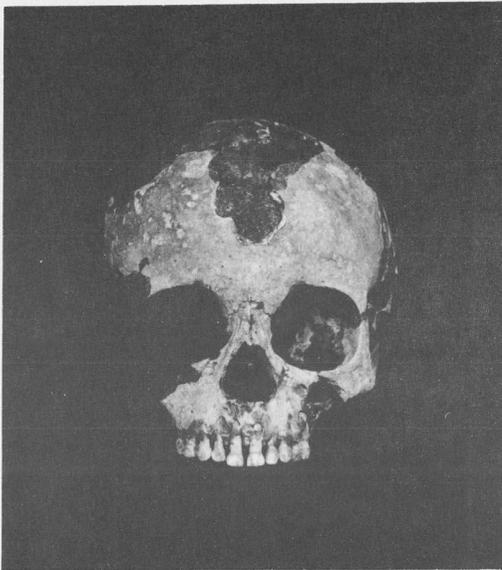
頭蓋前面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

立切 63-2 (5歳、幼児)

(Tachikiri 63-2, 5 years)



頭蓋前面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

立切 68-3 (6歳、小児 I 期)

(Tachikiri 68-3, 6 years)



立切 35-1 (13歳、小児Ⅱ期)  
 (Tachikiri 35-1, 13 years)



立切 60-2 (女性、15歳、小児Ⅱ期)  
 (Tachikiri 60-2, female, 15 years)

四肢骨前面 (Frontal view of the limbs)

高原町文化財調査報告書第1集

## 立切地下式横穴墓群

入木地区団体営ほ場整備事業に  
伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

平成3年3月

発行 宮崎県西諸県郡  
高原町教育委員会

印刷 (株)長崎印刷